

326  
60

青島海關之關スル諸規則並  
支那内水汽船航行規則及之關スル諸條約  
支那資料第三編



始





326  
60

交渉資料第三編

青島海關ニ關スル諸規則並  
支那内水汽船航行規則及之ニ關スル諸條約

南滿洲鐵道株式會社

總務部交渉局



# 交渉資料第三編

## 目次

一、膠州灣租借ニ關スル獨清條約	一
一、青島海關設立ニ關スル諸協約並海關諸規則	一
A 海關設立ト徵稅手續	八
一、青島海關設立協約	八
一、青島海關設立ニ關スル改訂協約	二二
一、通過規程	一五
一、膠州灣保護領内ニ於ケル關稅徵收規則	一八
一、製造品課稅規則	二七
B 海關告示	三四
一、青島港ニ於ケル物品運航ニ關スル告示	三四

大正  
3. 12. 16  
寄贈

口  
与  
寄贈



二

- 一、小包郵便物取扱ニ關スル告示……………三七
- 一、通關検査實行ニ關スル告示……………四〇
- 一、無稅輸入品ノ検査ヲ迅速ナラシムルコトニ關スル告示……………四一
- 一、兵器及彈藥ヲ清國へ輸入スル事ニ關スル告示……………四三
- 一、戎克出港認可ニ關スル告示……………四九
- 一、港部海關ニ關スル告示……………五一

C 附 錄

- 一、兵器及彈藥ノ輸入、輸出及貯藏ニ關スル告示……………五三
- 一、兵器及彈藥ノ賣買ニ關スル件……………五六
- 一、兵器及彈藥賣買ノ營業免狀ニ關スル件……………五六
- 一、阿片規則……………五七
- 一、船舶及旅客ニ對シ阿片規則ヲ適用セサルコトニ關スル告示……………六四
- 一、煙館閉鎖ニ關スル告示……………六四
- 一、阿片關稅ニ關スル告示……………六五

- 一、「モルヒネ」規則……………六五
- 一、「コカイン」規則……………六七
- 一、阿片輸入ニ關スル告示……………六八
- 一、内水汽船航行ニ關スル特別規則……………六八

D 附 錄

- 一、支那内水汽船航行規則(一八九八年七月)……………七二
- 一、同 上 原 文……………七五
- 一、同 上 追加規則(一八九八年九月)……………七七
- 一、同 上 原 文……………八〇
- 一、英清芝罘條約(一八七六年)(第三章四ノ末項)……………八三
- 一、英清通商條約(一九〇二年)第十條……………八三
- 一、緬甸國境及通商協約修正協定(一八九七年)(特別條項ノ第二項)……………八四
- 一、英清通商條約附則内水汽船航行追加規則(一九〇二年)……………八五



一、鎮江三聯軍章程(譯文)……………八八

一、發給三聯報單如何繳回暫行章程十條(同上原文)……………九三

膠州灣租借、鐵道、礦山及放資ニ關スル條約 (光緒二十四年二月十四日  
千八百九十八年二月六日)

山東省曹州府ニ於ケル宣教師遭難事務局カ今ヤ茲ニ終結スルニ際シ清國皇帝政府ハ獨逸カ曾テ清國ノ爲メニ顯ハシタル友誼(三國干涉遼東還附二周旋シタルコトヲ云フ)ニ對シ欣然タル感謝ノ特證ヲ獨逸ニ與フヘキコトヲ當然ト思考ス故ニ帝國獨逸ト清國皇帝政府ハ此兩帝國ヲ結フノ友誼ヲ鞏固ナラシムルカ爲メ且ツ此兩國臣民相互ノ經濟的通商的關係ヲ發達セシムル爲メニ雙方均等共好の願意ノ啓發スル所ト爲リツツ乃チ茲ニ締結決定スル所ノ條約左ノ如シ

第一章

第一條 清國皇帝ハ獨逸ト清國トノ友誼的關係ヲ鞏メ且ツ同時ニ清帝國軍備ノ整敏ヲ増サンカ爲メニ獨逸軍隊ヲシテ何時タリトモ五十「キロメートル」(清國里程大約百里)線圈內ヲ通行セシムルノ自由ヲ許與シ亦獨逸政府ノ豫先の同意アルニアラサレハ清國政府ハ此圈內ニ於テ何等ノ手段方法ヲ取ルコトナカルヘク武備政治一切法令ヲ發スルコトナカルヘシ而カモ殊ニ獨逸ノ爲メニ必要タルヘキ水路ノ規則上ニ向テ障害ヲ致スヘキ方法若クハ命令ヲ發スルコトナカルヘシ但シ其ノ所謂五十「キロメートル」圈內ニ於ケル主權仍ホ清國皇帝ノ手ニ存留スル者トス

又之ト同時ニ清國皇帝ハ獨逸政府ノ合同ヲ得テ此圈內ニ兵隊ヲ置キ屯在セシムルノ權利及他ノ軍事



的方法ヲ取ルコトノ權利ヲモ其ノ手ニ存留スルモノトス

第二條 獨逸船艦修繕及艤裝ノ爲メ且ツ其ノ物料並ニ食料貯藏ノ爲メニ及之ニ伴フ所ノ諸般施設ノ爲メニ支那海岸ニ於テ一箇ノ地域ヲ占有セント欲スル(他ノ列國ト等シク)獨逸皇帝ノ欲望ヲ達セシムヘキ清帝ノ志望ヲ以テ今ヤ清帝ハ獨逸ニ割與スルニ膠州灣兩涯ノ地域永借(九十九箇年期)ノ特權ヲ以テスルモノトス

此ノ如ク割與セラレタル地域ニ於テ獨逸ハ適當ナル時機ニ乘シ該地建設物保護ノ爲メニ且ツ該港入口ノ爲メニ須要ナル堡塞ヲ築造スヘキコトヲ茲ニ契約ス

第三條 將來清國獨逸ト雙方ノ間ニ或ハ其ノ主權ノ衝突ヲ起スノ虞ヲ豫メ避クルカ爲メニ清國政府ハ此地永借年限ノ間(九十九箇年期)該割地ニ對スル主權ノ施行權利ヲ舉ケテ之ヲ自ラ行ハス而カモ左ノ區域界限内ニ於テ該主權施行權利ヲ獨逸ニ永借スル者トス

(一) 膠州灣入口ノ北方地域ニ於テハ「ポテト」島北東角ヨリ勞山港ニ至ル一線ニ從フテ以テ北東ニ達スル半島ヲ界限トス

(二) 灣ノ入口南岸地域ニ於テハ……該灣ノ南西極端ヨリ「トロー」山島ノ方向ニ於ケル「チボ」山島ノ南南西ニ到ルマテノ半島ヲ以テ其界限トス

(三) 「チボサン」島及「ポテト」島

(四) 現在測量シ得タル所ノ最高潮標ニ從ツテ膠州灣ノ水面全部ハ勿論トス

(五) 膠州灣外ノ海上諸島「トロー」山島「チアリー」ンチツ」島等ノ如キ凡ソ此灣ノ防禦ノ爲メニ緊要ト爲リ得ヘキ者ハ一切本文ノ界限内ニ屬ス

凡ソ獨逸ニ永借シタル地區ノ界限ハ勿論……該灣ノ周圍五十「キロメートル」線帶ノ境界ハ清獨雙方ニ於テ更ニ任命スヘキ割界委員ノ立會檢査ノ上且ツ又該地古來ノ傳說ヲモ審按シタル上更ラニ精密調定スヘキコトヲ清獨兩國ノ全權委員ハ茲ニ豫メ約定ス

支那軍艦及其ノ商船ハ獨逸ト支那條約アル他列國ノ艦船ト均シク膠州灣内ニ於テ同一權利ヲ享有スヘシ

同灣ニ出入及停泊スル支那艦船ハ同灣出入ノ他各國艦船ニ對シテ獨逸カ之ヲ施行スルコトヲ必要ト認ムル所ノ諸制限(膠州灣ノ水面全部ニ對シテ獨逸カ行ヒ得ル所ノ主權施行ノ權能ニ依リテ之ヲ施ス者)ノ外ハ他ノ制限ヲ被ラサルヘシ

第四條 獨逸ハ此灣ノ諸島上ニ於テ及灣口淺水ニ於テ航海の必須ナル諸標ヲ建設スヘキコトヲ約ス

該灣港ノ必要ナル排置整理ノ爲メ及其ノ防波堤等ヲ維持スルカ爲メ他各國船舶ニ向テ均シク賦課ヲ徵セラルルヲ除クノ外清國艦船ハ膠州灣内ニ於テ一モ其ノ手數料課金ヲ要求セラレサルヘシ

第五條 將來若シ獨逸ノ都合ニ由リ此地永借年限未滿前ニ於テ膠州灣ヲ支那ニ返還スヘキ願意ヲ發言



スル場合ニ當リテハ支那ハ獨逸ニ對シ膠州經營ノ爲メニ獨逸カ費シタル所ノ諸費用ヲ償還スヘク且ツ獨逸ノ爲メニ更ニ此灣ヨリモ適當ナルヘキ地域ヲ割與スヘキコトヲ茲ニ契約スルモノトス

獨逸ハ將來何等ノ時ニ於テモ支那ヨリ永借セル此地域ヲ他ノ強國ニ再貸セサルヘキコトヲ茲ニ約ス此割讓セラレタル地域内ニ居住スル所ノ支那人民ハ苟モ能ク獨逸ノ法律ト其ノ行政秩序トニ服従スルニ於テハ何時タリトモ均シク獨逸政府ノ保護ヲ享有スルコトヲ得ヘシ又此地域内ニ住スル支那人民ノ所有地ハ公共ノ目的ノ爲メニ必須要用セララルル場合ヲ除ク外ハ依然從來ノ如ク所有スルヲ得ヘシ今般割讓地域外ニ從前ヨリ設在スル所ノ支那稅關諸分署ニシテ其ノ所在地タル五十「キロメートル」線帶内ニ當レル者其ノ再設ノ事ニ就キテハ獨逸帝國政府ハ支那政府ト能ク協商シ以テ該稅關區域ノ確定規則並ニ其ノ關稅徵收方法等ヲシテ一切支那人ノ利益ヲ保タシムヘキ手段ニ出テシメシコトヲ期望シ而カモ清獨兩國ノ間ニ十分協定セラレンコトヲ欲スルモノトス

上來列記スル所ノ條約ハ此契約國雙方君主ノ批准ヲ經ヘク而カモ其ノ批准ハ清國皇帝ノ批准カ伯林ニ到達シタル後ニ於テ獨逸批准ノ副本カ伯林駐在ノ清國公使ニ交附セラルヘキ手順ヲ以テ之ヲ交換セラ

第二章

第一條 支那政府ハ獨逸ニ許スニ山東省内ニ於ケル二箇線路ノ鐵道布設ヲ以テスルコトヲ茲ニ約ス

其ノ線路豫定地名ハ左ノ如シ

(甲)線路 膠州ヨリ起リ濰縣、青州、博山縣、淄川、鄒平ヲ經テ濟南府ニ達シ且ツ山東省ノ疆界ニ到ルモノトス

(乙)線路 膠州ヨリ起リテ左リノ方沂州府(郯瑯)ニ出テ此ヨリ進ミ萊蕪縣ヲ經テ濟南府ニ達スル者トス

濟南府ヨリ山東省ノ疆界ニ達スヘキ線路ハ追テ支那帝國南北貫通鐵道ノ本線ト連絡スルヲ要スル故ニ今未タ其ノ地名ヲ決定セス膠州濟南ノ線路工事成功ノ日ヲ俟チテ之ヲ查定セラルヘキモノトス

第二條 上陳(甲)(乙)兩線ノ鐵道敷設ノ爲メニ獨逸支那協同會社ヲ建設セラルヘシ其ノ株主トシテ獨逸支那兩國資本主ノ入社ヲ許ス

第三條 上陳鐵道工事ハ可及的迅速ニ之ヲ準備セラルヘシ

獨逸支那協同鐵道會社ハ支那政府ヨリ優渥ナル待遇ヲ被ムルヘク且ツ支那帝國内ニ設在セル外國人ト支那人トノ他ノ共同商會若クハ外國商會ニ與ヘラレタル所ノ特許特權ハ一切之ヲ該鐵道會社ニモ亦許與セラルヘシ

此條款ハ專ラ商業利益ノ爲メニノミ之ヲ適用セラルヘキ者ニシテ而カモ他ノ設計ヲ有スル者ニ非ス



此鐵道會社ハ勿論此鐵道ハ決シテ山東省某地方併呑ノ資ト爲スヲ得ス

六

第四條 上述鐵道線路ノ沿道左右十里(大約支那ノ三十里)以内ニ在ル地方例ヘハ膠州ヨリ濟南ニ至ル北方線(甲線)ニ在リテハ濰縣及博山縣ノ如キ其ノ南方線(乙線)ニ在リテハ沂州府及萊蕪縣ノ如キ地方ニ於テハ獨逸人民ハ其ノ石炭其ノ他諸礦坑山ヲ自由ニ採掘スルコトヲ得ヘシ  
凡ソ山東省内此鐵道附近ニ於ケル必要ノ工業工事ハ支那商獨逸商ノ共同資本ヲ以テ之ヲ經營スルコトヲ得ヘシ

鑛礦開採ノ規則ハ別ニ之ヲ制定發行セサルヘシ

獨逸商人及其ノ職工等ハ鐵道ノ場合ニ於ケルカ如ク支那政府ヨリ優厚待遇ヲ受クヘク而カモ他ノ諸會社ト均シキ特許特權ヲ許與セラルヘシ

此條項ハ單ニ通商ノ利益ノ爲メニ之ヲ受領スルモノニシテ而カモ他ノ設計ヲ包含セサルモノトス

### 第三章

凡ソ山東省内ニ於ケル某種ノ利益ノ事業カ新ニ企テラルルトキ其ノ資本金若クハ其ノ補助ヲ外國人ニ仰カントスル場合ニ在テハ支那ハ獨逸商人カ該新企業ニ從事スルノ願意アルカ若クハ獨逸商人カ該新企業ノ爲メニ諸材料ヲ準備供給スルノ願望アルカラ首トシテ問フヘキノ義務ニ任スル者トス  
上來ノ條約ハ獨逸文正副二通支那文正副二本併セテ四通ヲ茲ニ作り千八百九十八年三月六日即チ清國

光緒二十四年二月十四日ヲ以テ締約雙方ノ代表タル特命全權委員ハ各茲ニ署名セリ

#### 大清帝國總理衙門ノ大璽

獨逸帝國全權公使男爵	フオン、ハイキン	署名
清國總理衙門大臣伯爵	李鴻章	署名
同	上翁	同 蘇記名







第十條 清國條約港ヨリ青島ニ輸入シ、更ニ青島ヨリ清國以外ノ地ヘ船積セララル商品ハ當該條約港ニ於テ既ニ輸出税ヲ納メタル證據アル場合ニ限り輸出税ヲ納ムルヲ要セス

第十一條 青島海關ハ噸税、燈臺税、港税等ノ徵收又ハ管理ヲナサス

第十三條 青島海關ハ青島ニ輸入スル阿片ニ對シ清國ノ條約港ニ於テ阿片ニ課スルト同一ノ關稅及租稅(釐金)ヲ賦課徵收スルノ任ニ當ルモノトス

第十四條 青島政府ハ青島海關ノ爲メニ、其ノ事務所及庭園、厩、奴僕部屋竝海關官吏宿舍ヲ建造スルニ足ルヘキ土地ヲ備ヘ置クコトノ義務ヲ有スルモノトス、是等ノ土地ヲ買得若クハ賃借スルニ要スル費用ハソノ地ニ於テ雙方合意ノ上決定スヘシ

第十五條 海關長及ソノ他ノ海關官吏ハ裁判所ニ於テ陪審人若クハ證人又ハ其ノ他何等勞務ノ給付ヲ負擔スルコトナシ

第十六條 上ニ詳記セル青島海關ハ、青島又ハソノ他ノ膠州灣ニ來ル凡テノ支那船舶(戎克)及是等船舶ニテ輸入セル商品ヨリ關稅及釐金ヲ徵收スルノ任ニ當ルモノトス、支那形船舶及是等船舶ニテ青島ニ輸入シタル商品ヨリ徵收スル關稅、雜稅及手数料ハ、從來、青島又ハ他ノ膠州灣ニ於テ支那形船舶及是等船舶積載ノ商品ニ課シタルモノヨリ多キコトヲ得ス、若シ山東省内ノ他ノ港ニ於テ支那形船舶及ソノ積載セル商品ヨリ徵收スル公納金ニシテ、ソノ額、膠州灣ニ於テ徵收スルモノヨリ少

キコトアラハ膠州灣ニ於テ徵收スルモノモ他ノ所ニテ徵收スルモノト同一額ニ減スルモノトス

第十七條 青島海關ハ清國內地ヨリ青島ニ來ル凡テノ清國商品及青島ヨリ清國內地ニ至ル商品ニ對シ通過證書ヲ發行下附スル權利ヲ有ス、又海關ハソノ他、所謂支那稅務道臺カ條約港ニ於テ有スル所ノ凡テノ職務、權利及資格ヲ有スルモノトス

第十八條 青島海關ハ第十七條ニ記セル通過證書ニ對シ、條約ニ規定セル輸入稅竝ニ輸出稅ノ半額ヲ徵收スルモノトス

第十九條 稅金ノ逋脫ヲ謀リ及海關規程ニ背クモノニ對シテ取ルヘキノ手續ニ關スル規定ハ別ニ協定シテ之ヲ定ムヘシ但シ、凡テノ裁判辯論ハ在青島獨逸裁判所ニ於テ行フヘシト云ヘル原則ハ現在ニ於テ既ニ確立サレ居ルモノトス

第二十條 商業發展ノ爲メ膠州ニ於テ後來如何ナル必要ノ起ルヘキヤハ豫想シ得ヘカラサルモノアルカ故ニ本協約ハ單ニ假リノ準備ト見做スヘシ、本協約ノ實行ニヨリ不都合ヲ生シ之レカ除去ノ必要起ラハ、兩締約者ハ直チニ之カ改正ヲ企ツルニ躊躇セサルヘキヲ言明ス

一八九九年四月十七日

北京ニ於テ署名

獨逸帝國公使 ハイキング

總稅務司 ロバート、ハート



## 青島海關設立ニ關スル改訂協約

(一九〇五年十二月一日北京ニ於テ署名)

清國政府ト獨逸國政府トハ一八九九年四月十七日附協約ヲ改正スルノ必要ヲ認メ、獨逸保護領ト清國海關トノ相互間ノ關係ヲ、更ニ善良ナル根據ノ上ニ立タシメンカ爲メニ下記ノ諸條ニ含マルル改正ヲナスコトニ同意シタリ

此ノ合意ノ根據ハ

- 一、清國政府ハ獨逸領内ニ輸入セラルル物品ニ課スル關稅ノ中、一定ノ歩合ヲ膠州灣總督府ニ納メ
  - 二、清國條約港ニ行ハルル徵稅手續トハ相違セル下記ノ諸條ニ同意シ、而シテ、獨逸政府ハ清國政府カ右ノ支出ニ同意シタルニ報インカ爲メニ、獨逸保護領ニ於ケル清國海關ノ業務ノ執行ヲ容易ナラシメ規定ノ關稅收入ヲ確實ニスルノ任ニ當ルモノトス
- 雙方ハ左ノ諸點ヲ必須ナル改正ト考ヘ之ヲ實行スルコトニ一致シタリ

### 第一條

獨逸官憲カ青島ノ自由地域ヲ劃定シタル後、保護領内ニ設置サレタル海關ハ、自由地域ヲ出ツル商品

ニ對シ凡テノ關稅ヲ賦課徵收スヘシ、而シテ清國政府ハ每年在青島獨逸官憲ニ對シ、青島海關ノ統計表ニ於テ明示サルル關稅純收入ノ二割ヲ保護領費用ノ中ヘ貢納スヘシ、此定額ハ假リニ五箇年間ハ變更セサルモノトス、該定額ハ年四回ニ分チ交付スルモノニシテ後拂トス、若シ締約者ノ一方カ此二割ノ貢納額率ヲ變更セント欲スル時ハ第五箇年ノ始メニ當リ、將來ノ處置ニ關シ、他ノ一方ニ通知スヘシ

### 第二條

大港ニ設クヘキ自由地域ノ劃定及後來築港事業進捗ノ結果トシテ起ルヘキ擴張ハ、能フ限り、關稅徵收ニ便宜ナル様ニ設備スヘシ

### 第三條

稅率表ニ依リ無稅ノ權利ヲ有スル物品ニハ課稅セス、無稅ノ物品ハ

獨逸軍隊ニ對シテハ

イ、軍器、軍需品、軍服トナサルヘキ物體、但シ陸海軍官憲ノ直接取寄セタルモノニシテ獨逸帝

國政府ノ證明書アルヲ要ス

ロ、戰爭ノ目的ノ爲メニ取寄セタル原料品及食糧品、但シ獨逸帝國政府ノ證明書アルヲ要ス

一般人ニ對シテハ

一九〇五年十一月五日附關稅手續ニ關スル規則第二款見下ノ細則ヲ

後ニ見ユル一九〇五年十二月二日附規則第三條參照



ハ、機械及機械ノ附屬品、製造業、工業、農業ニ必要ナル器具及其ノ一部、諸官署稅務所延築材  
料及其ノ設備品、但シ各場合ニ於テ、一々製造品ノ價格ヲ記載シ且ツ該品ハ必ス保護領内ニ於  
テノミ使用スヘキ旨ヲ表明セル書類ヲ差出スヘシ、後ニ至リ之ヲ清國ニ輸送スルコトアルトキ  
ハ之ヲ稅關ニ申告シテ稅金ヲ納ムヘシ、申告ヲ怠リタル場合ニハ届出書ニ記載セル價格ニ相當  
スル稅金ノ二倍ヲ徵收スルモノトス

ニ、自由地域ト有稅地トノ間ニ商品ヲ輸送シ拂戻ヲ要スルモノアルトキハソノ都度之ヲ申告スヘ  
シ

ホ、保護領ニ於ケル私用ノ目的ヲ以テ輸入セル小包郵便物、但シ添附ノ入關告知書ニヨリ徵收ス  
ヘキ稅額一弗(物品價格二十弗)以内ナルコトヲ要ス、稅關ハ隨時郵便物ノ内容及入關告知書ヲ  
檢査スルノ權利ヲ有スルモノトス

ヘ、旅客カ、有稅品若クハ輸入禁制品ニアラサルコトヲ言明セル私用ノ手荷物、但シ稅關官吏必  
要ト考フル場合ニハ特ニ檢査ヲ行フコトアルヘシ

第四條

輸入稅徵收ニ關スル一八九九年四月十七日附協約第五、第七、第九條ノ規程ハ自由地域ニ對シテノミ  
免稅ストノ意義ニ改正ス、故ニ物品ノ徵稅ハ自由區域ヲ出テタル場合又ハ自由地域ニ觸レスシテ海路

輸入サレタル場合ニ於テ之ヲナスモノトス、關稅ヲ支拂ヒタル物品ハ運搬ノ自由ヲ與ヘラレ又檢査ヲ  
受クルコトナシ、斯ノ如キ充分ナル用意ヲ以テスレハ青島ニ於ケル徵稅ハ有效ニ行ハルヘキカ故ニ境  
界線上又ハ境界線附近ニ海關派出所ヲ置クノ必要ヲ見ス當分之レカ設置ヲ見合スコトヲ得ヘシ、但シ、  
戎克交通ノ檢査ヲ行フ派出所ハ此ノ限ニアラス

第五條

輸出品製造業カ自由地域内ニ起ラサル間ハ製造品ハ凡テ之ヲ自由地域内ヨリ來ルモノト同様ニ取扱フ  
ノ用意ヲ必要ナリトス、保護領内ニ於ケル勞力ニハ原則上之ヲ免稅スヘキモノナルカ故ニ保護領内ニ  
於テ内地又ハ海路保護領内ニ輸入サレタル原料品ヨリ製造シタル生産品ヲ輸送スルニ付テハ清國政府  
ハ條約ノ規定ニ從ヒ原料品ニ課稅スル限度ニ於テノミ課稅スルモノトス、原料品ト見做サルヘキ物品  
ノ一覽表ハ、必要アル時ハ、政府ト海關之ヲ協定シ且ツ又毎年ノ末之ヲ改訂スルモノトス

第六條

清國海岸ニ於テ與ヘラレル凡テノ貿易上竝ニ航海ノ保護ハ、勿論、膠州灣ニ於テ與ヘラレルヘキモノ  
トス

第七條

稅金通脫及關稅規程違犯處分ハ、勿論一八六八年五月三十一日附<sup>グマインシヤフトリツヘウスターズイラング</sup>合 汎 章 程 ノ趣旨ニ從ツテ



之ヲ行フ、但シ總督府ノ一官吏ヲ以テ領事ノ代理ヲナサシムルモノトス

一六

#### 第八條

右ノ改正ハ青島海關設置ニ關スル協約第二十條ニ據リシモノトス、但シ此改正ト明白ナル交渉ヲ有セサル簡條ニ於テハ該協約ハ依然效力ヲ有スルモノトス

一九〇五年十二月一日

北京ニ於テ

アリ、フォン、ムム  
ロバート、ハート

### 通過規程

一九〇五年十二月二日附規則ニ基キテ開始シタル自由地域通過規程ニ關スル規則

(一九〇五年官報二九七頁)

#### 第一條

一九〇五年十二月二日附(官報二六五頁)青島保護領ニ於ケル徵稅手續規則公布ノ日以前ニ於テ保護領内ノ需要ニ充テンカ爲メ船積シタル商品ハ之ヲ無稅トス

#### 第二條

此規則發布ノ日以前ニ於テ保護領内ノ需用ニ充ツル爲メニ注文シタル物品又ハ海關協約發布以前ニ於テ締結シタル契約ニ基キ保護領内ノ需用ニ供スル爲メニ送り來ル物品ハ保護領内ニ於テ一九〇六年三月三十一日迄免稅ス、但シ此期限ハ特別ノ場合ニ於テハ例外トシテ延長スルコトアルヘシ、證據書類ハ海關ニ呈示シ、若シ必要アルニ於テハ、ソノ他ノ一切ノ證據物件ヲモ提供スヘシ

#### 第三條

既ニ保護領内ニ在リ支那ニ輸出スルコトニ定マリ居ル商品ニハ一九〇六年三月三十一日迄舊海關派出所ニ於テ之ニ徵稅ス

#### 第四條

既ニ納稅シタル物品カ自由地域ヲ出ツルニ當テハ舊海關派出所ハソノ關稅領收證ノ呈示ニヨリテ之ヲ無稅通過セシムルモノトス

#### 第五條

既ニ自由地域内ニ在リタル物品ハ、一九〇五年十二月二日附規則實施ノ日ヨリ十日以内ニ該物品ノ包装ノ種類、通名、荷章、番號、受取人若クハ代理者等ニ就キ能フ限り精細ニ記載シタル申告書ヲ海關ニ差出スヘシ

一七



一九〇五年十二月二日

青島ニ於テ

一八

總督代理 フアン、セムメルン

### 膠州保護領内ニ於ケル關稅徵收規則

(一九〇五年官報二八一頁)

#### 一、總則

##### 第一條

海路獨逸保護領内ニ輸入セル貨物又ハ同所ヨリ輸出セル貨物ハ下ノ如キ特別例外ノ場合ニアラサル限り、其ノ輸出及輸入ノ際、稅率表ニ據リテ課稅ス、子口稅單ヲ用キテ清國內地ニ送ラルヘキ若クハ内地ヨリ來ルヘキ貨物ハ條約ノ規定ニ依ル輸入若クハ輸出稅ノ外條約ノ規定ニ依ル子口稅ヲ納付スルモノトス

##### 第二條

徵稅手續ハ清國海關ニ行ハレ居ル原則ニ從フ、海關検査ハ必要アル場合ニ於テ海關官吏之ヲ行フ

##### 第三條

船舶ノ海關ニ差出スヘキ輸入及輸出積荷目錄ニ付テハ條約ノ規定ニ準スルモノトス、積荷目錄ニハ船長責任ヲ以テ之ニ署名スヘシ、但シ船舶代理業者之ヲ代理スルコトヲ得

##### 第四條

普通ノ碇泊所ニ碇留セル戎克ノ外、何レノ船舶モ輸入積荷目錄ヲ稅關ニ差出ササル間ハ積込ニ著手スルコトヲ得ス、但シ稅關ノ許可ヲ待タスシテ積込ノ爲メ船舶ヲ自由港外ニ置クコトヲ得、自由港外ニ於テ積込又ハ荷卸ヲナサントスル時ハソノ積込又ハ荷卸ヲナサントスル場所ヲ詳シク申告スヘシ

##### 二、自由地域

自由地域ハ防波堤、埠頭及ソノ前ナル鐵道本線ノ築堤ニ至ル土地ヲ含メル大港ヲ包括シ、西南ハ「レヒテルン」街ト大港ニ至ル聯絡道ノ前方内灣ト鐵道ノ築堤トノ間ノ一線ヲ以テ劃シ、東ハ廢驛附近鐵道ノ築堤ト包圍堤トノ間ノ一線ヲ以テ劃ス、將來ニ於テ必要アル場合ニハ何時ニテモ擴張スルモノトス、ソノ擴張豫想境界ハ一方、鐵道ノ築堤ヨリ廢驛ニ至リ、包圍堤ノ東部約二千米突ニ亘ル埋立計畫地ヲ含ミ、他方、「シヤンチ」街地下鐵道ニ至リ更ニ之レニ沿フテ「オステル」砲臺ニ及ヒ大港小港ヲ含ムモノトス

##### 第六條

自由地域ハ住居ニ使用スルヲ得ス、但シ倉庫管理人、埠頭管理人、管海官吏、海關官吏、警察官吏ノ

一九〇五年十一月一日附則  
第二條ヲ見



宿舍、雜貨店及當分ノ内港内ニ勞働スル支那人用ノ一定數ノ食室トハ例外トス、但シ工業用ノ建造物ハ原則上之ヲ許ス

第七條

自由區域内及ソノ出入口ニ於ケル海關検査ハ青島海關之ヲ行フ

第八條

入港船舶關稅計算ハ該船舶ノ出港後自由地域ヲ出ル凡テノ輸入品ニ對スル關稅ノ額ヲ計算シ十日以内ニ之ヲ結了スヘキモノトス

第九條

海路又ハ内地ヨリ輸入シタル貨物ヲ自由地域内ニ於テ貯藏シ、仕譯シ、加工セント欲スルトキハ該輸入品運送ノ種類(船ナラハ船名)、受取人ノ姓名、住所、到着ノ日附、俵捆ノ箇數、包裝ノ種類、荷章、荷ノ番號、荷ノ通稱ヲ申告シテ検査ヲ受クヘキモノトス

第十條

自由地域ヲ出テ海路輸出セントスル貨物ハ海關出張所之ヲ通過セシム、但シ海關ノ添狀ナキトキハ之ヲ船積スルコトヲ許サス

第十一條

如何ナル種類ノ運搬具(荷車、電車、汽車、戎克、サムバン、曳船、汽船等)ヲ用ユルニ拘ラス、自由地域ノ海陸境界線ニ於テ凡テノ運輸交通ハ海關官吏ノ検査ヲ受クルモノトス

三、無稅品

第十二條

條約ノ規定ニヨリ免稅セラレタル貨物ニハ課稅セス

獨逸軍隊ニ對シテ免稅セララルモノハ

イ、軍器、軍需品、軍服トナサルヘキ物體、但シ陸海軍官憲ノ直接取寄タルモノニシテ獨逸帝國

政府ノ證明書アルヲ要ス

ロ、戰爭ノ目的ノ爲メニ取寄セタル原料品及食糧品、但シ獨逸帝國政府ノ證明書アルヲ要ス

一般人ニ免稅セララルモノハ

ハ、機械及機械ノ附屬品、製造業、工業、農業ニ必要ナル器具及ソノ一部、諸官署、稅務所ノ建築材料並其ノ設備品、但シ各場合ニ於テ一々製造品ノ價格ヲ記載シ且ツ該品ハ單ニ保護領内ノ需用ニ供スルノミナル旨ヲ表明セル届書ヲ差出スヘシ、後ニ至リ之ヲ清國內地ニ送ルコトアルトキハ海關ニ申告シテ稅金ヲ納ムヘシ、申告ヲ怠リタル場合ニハ届出書ニ記載セル價格ニ相當スル稅金ノ二倍ヲ徵收セララルモノトス



ホ、自由地域ト有税地トノ間ノ運送ニシテ割戻ヲ要スルモノアルトキハソノ都度之ヲ申告スヘシ  
 ヘ、保護領ニ於ケル私用ノ目的ヲ以テ輸入セル小包郵便物、但シ添附ノ入關告知書ニヨリ徴收ス  
 ヘキ税額一弗(物品價格二十弗)以内ナルコトヲ要ス、海關ハ臨時ニ郵便物ノ内容及入關告知書  
 ヲ検査スルノ權利ヲ有スルモノトス  
 ト、旅客カソノ決シテ有税品若クハ輸入禁制品ニアラサルコトヲ言明セル私用手荷物、但シ税關  
 官吏必要ト考フル場合ニハ特ニ検査ヲ行フコトアルヘシ

第十三條

旅客ノ手荷物ニシテソノ中有税品若クハ輸入禁制品ナキコトヲ言明セルトキハ免税シ、概シテ検査  
 ヲ行ハサルモノトス、但シ特ニ必要ト認ムル場合ニ於テハ海關ハ之ヲ検査スルノ權利ヲ有ス、若シソ  
 ノ中ニ手荷物ト見做スノ無理ナル程度ノ分量ノ物品又ハ販賣ヲ目的トセルモノアルヲ發見シタルト  
 キハ之ニ課税スヘシ

四、保護領ニ於テ製造シタル製造品

第十四條

(下記一九〇七年四月二十七日附製造品課税規則ニ依リテ廢止セラル)

五、阿片

第十五條

阿片ヲ船舶ニテ輸入スルニハ箱<sup>キスタ</sup>ハ原裝ノママナルヲ要ス、一箱以下ノ分量ヲ輸入スルコトヲ得ス、凡  
 テノ阿片、例ヘハ船中自用ノ目的ヲ以テ携帯セルモノト雖モ、著港セハ直ニ之ヲ海關ニ提示スヘク、  
 若シ輸入ノ目的ノモノナルトキハ、海關監視ノ下ニ之ヲ海關倉庫ニ搬入セシムルモノトス

第十六條

阿片ヲ獨逸保護領ヨリ清國ヘ若シクハ清國ヨリ獨逸保護領ヘ送ルニハ鐵道速達便ニ依リ運送狀ヲ添附  
 スヘシ、旅客荷物又ハ手荷物中ニ混入輸送スルコトヲ禁ス、阿片到着シタルトキハ鐵道會社ハ添附ノ  
 運送狀ヲ保護領ノ海關ニ交附シ、海關ハ之ヲソノ名宛人ニ通知スルモノトス

第十七條

保護領内ニ於テ何片ヲ使用セントスルモノハ特別規程ニ從フモノトス

六、兵器、彈藥、爆發物及ソノ他同種ノモノ

第十八條

兵器、彈藥、爆發物ソノ他同種ノモノ、竝ニ是等ヲ製造スルニ用ユル原料品ハ、ソノ到着ノ時之ヲ申  
 告シ、規定ニ從ツテ荷卸及蓄藏ヲナスヘシ

第十九條

兵器及彈藥ノ  
 輸出入及貯藏  
 ニ關スル告示  
 参照



兵器ノ他同種ノモノ、竝ニ之レカ製造ニ使用スル原料品ハ之ヲ獨逸領ヨリ清國領ニ輸出スルコトヲ禁ス、但シ清國政府ノ希望ニヨリ發行シタル特別證書ヲ有シ且ツ保證金ヲ差出スモノハ此ノ限リニアラス

二四

#### 第二十條

保護領内ニ於テ兵器及爆發物ヲ貯藏シ、使用シ、賣買セントスルモノハ特別ノ規定ニ從フヘシ

#### 七、郵便

#### 第二十一條

郵便局ハ何時ニテモ郵便物ヲ船舶ニ持チ行キ又船舶ヨリ持チ去ルコトヲ得ルモノトス

#### 第二十二條

小包郵便物ハ海關ノ證明書アルニアラスンハ之ヲ取扱ハス

#### 第二十三條

小包到着シタル時ハ郵便局ハ課税ノ爲メ、直チニ之ヲ海關ニ引渡シ、受取人ニ對シテハ他ノ郵便物ニ於ケルト同様ニ相當ノ證明書ヲ交付ス、受取人ハ此證書ヲ海關ニ呈示シ相當ノ納税(第十二條ヲ見ヨ)ヲナストキハ該小包ヲ受取ルコトヲ得、青島以外ノ獨逸郵便取扱所所在地ニ行クヘキ小包ハ受取人ニ於テ相當關税ノ外二十仙ノ手数料ヲ郵便局ニ納ムルヲ要ス

#### 第二十四條

阿片、兵器、彈藥、爆發物及ソノ他同種ノモノ、竝ニ之レカ製造ニ使用スル原料品ハ郵便ヲ以テ輸入スルコトヲ得ス、但シ特別ノ場合ニ於テ政府ノ許可アリタルモノハ此限リニアラス

#### 八、タンク石油

石油「タンク」ノ船積、貯藏、價格見積等ニ關スル通關手續ハ諸海關ニ行ハレ居ル普通ノ手續ニ準ス

#### 九、海關執務時間

#### 第二十六條

海關ハ日曜及祭日ノ外午前十時ヨリ午後四時迄文書ノ受理交附ヲナス、但シ海關會計部ハ午前八九時ヨリ十二時迄、午後一二時ヨリ四時迄ヲ執務時間トス

#### 第二十七條

日曜、祭日又ハ夜間ニ於テ積込荷卸ヲナサント欲スル船舶ハ海關ヨリ特別ノ許可ヲ受クルヲ要ス、此許可ヲ受クルハ執務時間中ニ於テスヘシ

#### 第二十八條

夜間貨物ヲ自由地域ノ陸上竝ニ海上ノ境界ヲ通過運搬セントスル時ハ海關ヨリ特別ノ許可ヲ受クルヲ要ス、但シ郵便物及旅客ノ荷物ハ此限リニアラス

二五



第二十九條

夜間トハ三月一日ヨリ十月三十一日迄ハ夕ノ八時ヨリ朝ノ五時ニ至ル時間、十一月一日ヨリ二月二十九日又ハ二十八日迄ハ夕ノ六時ヨリ朝ノ六時ニ至ル時間ヲ謂フモノトス

十、罰則

第三十條

沒收及處罰ハ海關ニ關スル條約上ノ原則ニ準ス海關ノ行ヒタル沒收及處罰ニ對シ異議ノ申立ヲナスモノアル時ハ一八六八年五月三十一日北京合汎章程ノ規定ニ依ツテ判決スルモノトス

十一、舊規則ノ廢止

第三十一條

此規則ハ一八九九年四月十七日附協約及一九〇五年十二月一日附同協約ノ改正ヲ實施スル爲メニ海關官憲同意ノ下ニ一九〇六年一月一日之ヲ公布スルモノトス

此規則ノ公布ト共ニ廢止ニ歸スル規則ハ次ノ如シ

- イ、一八九九年五月二十三日附獨逸領膠州海關假規程
- ロ、一八九九年五月二十一日附阿片兵器ノ輸入及検査ニ關スル特別規程
- ハ、一八九九年五月三十一日附海關検査實行ニ關スル特別規程

- ニ、一九〇一年四月二十日附山東鐵道積載ノ貨物ニ關スル關稅假規程
  - ホ、一九〇二年三月三十一日附鐵道輸送貨物ニ關スル第二十四號海關告示
- 一九〇五年十二月二日 青島ニ於テ

知事 フアン、セムメルン

製造品課稅規則

(一九〇七年官報一三七頁)

一九〇五年十二月二日附膠州保護領内ニ於ケル關稅徵收規則第十四條ハ之ヲ廢シ左ノ條文ヲ以テ之ニ代フ

保護領ニ於テ製造シタル生産品

甲、總則

一、凡テノ種類ノ物品ニ對スル輸入稅ハ、時ノ事情ニ從ヒ、或ハソノ自由地域ヲ去ル際ニ於テ、或ハ自由地域ニ入ルルコトナクシテ陸上ケセラルル以前ニ於テ之ヲ納ムルモノトス、之ヲ納ムルト同時ニソノ物品ハ検査ヲ受クルコトナク自由ニ輸送スルコトヲ得、青島ヨリ他ノ地ヘ船舶ニテ輸送セン

此規則ハ一九〇七年四月七日附獨逸公使及總稅務司サハルト署名ニ關スル協定ニ基ケルモノナリ一九〇五年十二月一日附協定第五條參照



トスル物品ニ對シテハ輸出税ヲ課ス、自由地域外ノ保護領ト清國內地トノ間ニ於ケル物品ノ輸送ニ就テハ海關ノ検査ナク亦課税セラルルコトナシ

獨逸領膠州内ニ於テ製造シタル生産品又ハカカル獨逸領内製造ノ生産品若クハ海路獨逸領内へ輸入セラレタル生産品ヨリ作りタル物品ニ對シテハ輸出税ヲ課セス、但シ或ル原料品ヲ用キテ製造シタル生産品ト雖モ之ヲ税關ニ通告セサルトキハ普通ノ物品ト同一ノ取扱ヲ受クヘシ、通告シタル場合ニハ特別ノ取扱ヲ受クヘク製造品ニ對スル税金ハ自由地域ノ内タルト外タルトニ於テ異なる所ナシ

二、保護領内ニ於テ製造シタル生産品ヲ内地ニ送ラントスル時ハ製造者ヨリ子口税單ノ下附ヲ申請シソノ生産品ニ對スル子口税ヲ納ムヘシ(細則ヲ見ヨ)

三、支那産原料品ヲ加工ノ目的ヲ以テ内地或ハ未開港ヨリ保護領ニ輸入セントスルトキハ之レニ對シテ課セラルヘキ關稅ニ對スル保證書ヲ海關ニ差出シテ之ヲ届出ツヘシ

此届出アリタル原料品ヨリ製造シタル生産品ヲ輸出スル場合ニハソノ原料品ニ對シ保證書ニ於テ保證セル額ノ輸出税ヲ課スルモノトス

保證書中ニ保證セル關稅ハ之ヲ差出シタル日ヨリ三箇年以内ニ納ムルカ若クハ其他ノ方法ヲ以テ清算セサルヘカラス

荷主ノ希望ニヨリテハ原料品ノ代リニ製造品ニ對スル稅率表規定ノ全額ヲ納ムルコトヲ得

海關ニ届出テス保證書ヲモ差出ササル原料品ヨリ製造シタル生産品ハ海關派出所通過ノ際輸出税全額ヲ納附スルヲ要ス

四、外國原料品又ハ支那條約港ヨリ來ル原料品ニ對スル輸入税及沿岸貿易税ハ是等原料品輸入ノ際ソノ加工ヲ目的トセルモノナル旨ヲ海關ニ届出テアリタル場合ニ限リソノ加工シタル製造品ヲ輸出スル時拂戻スモノトス

五、獨逸保護領内ニ於テ製造シタル生産品ヲ海路支那ニ輸送シ來ル時ハ稅率表規定ノ輸入税全額ヲ納ムヘク、而シテ更ニ之ヲ内地ニ運送セントスルトキハ子口税ヲ納メテ通過權ヲ享クヘキモノトス

六、若シ諸種ノ製造品輸出サルルニ至ルコトアラハ政廳ト海關ト合議ノ上、原料品ト製造品トノ關係ヲ規定シ以テ輸出税ヲ低減スルコトニ努ムヘシ

七、關稅ニ付テ右ノ取扱ヲ受クヘキ生産品ニ付テハ目錄表ヲ作り、必要ナル追加ヲナシ、若シ一般ノ要求アルトキハ之ヲ稅關ニ送付スルモノトス

#### 乙、細則

以下ノ細則ハ、保護領へ到着ノ際、ソノ加工ヲ目的トセルモノナルコトヲ届出テ且ツ必要アル場合ニハ、之ニ對シテ課セラルヘキ關稅ニ對スル保證書ヲモ差出シタル原料品ニ限リ適用アルモノトス

一、外國ヨリ直接輸入、若クハ條約港ヲ經テ輸入シタル外國ノ原料品



イ、此ノ原料品ヲ原料トシテ製造シタル生産品ヲ再ヒ外國ヘ向ケ輸出スル時ハ既ニ之レニ對シテ納メタル關稅ヲ拂戻サルルモノトス

ロ、製造品ヲ支那條約港ニ向ケ輸出スル時ハソノ既ニ納メタル輸入稅ヲ拂戻サルルモノトス、但シ該外國ヨリ直接ニ到達シタル場合ニ同種ノ物品ニ對シテモ課セラルヘキ關稅ヲ、ソノ到着港ニ於テ納附スルヲ要ス、而シテ又更ニ子口稅ヲ納ムル時ハ之ヲ内地ニ送ルニ付テノ通過特權ヲ與ヘラルルモノトス

ハ、内水汽船航行規則ニ從ヒ運搬スル製造品ハ同種ノ物品カ同一ノ事情ノ下ニ輸出、輸送中及内地ニ於テ課セラルル凡テノ關稅、租稅、手數料ヲ納ムルモノトス、但シソノ製造品ニ對シテ從價二分半ノ子口稅ヲ納ムル時ハ子口稅單ヲ受ケテ右ノ雜徵ヲ免レ通過特權ヲ受クルモノトス

ニ、製造品ヲ陸路内地ニ輸送スル時ハ内水汽船航行規則ニ從ツテ輸送サルル同種ノ物品ト同一ノ取扱ヲ受クルモノトス

## 二、清國條約港ヨリ來ル支那產原料品

ホ、製造品ヲ外國ニ輸出スル時ハ沿岸貿易稅ヲ拂戻スモノトス

ヘ、製造品ヲ清國條約港ニ輸出スル時ハ、ソノ中ニ含まレタル原料品ニ對スル沿岸貿易稅領收證ヲ交付ス、是ニヨリテソノ製造品ハ該港到着ノ際徵稅ヲ免ルヘシ、ソノ以後ニ於テハ支那品ト

同一ノ取扱ヲ受ケ、通過特權ヲ請求スルコトヲ得ス、荷主ノ希望ニヨリテ沿岸貿易稅ヲ拂戻シタル時ハ條約港陸上ノ際、輸入稅全額ヲ納ムルヲ要ス、而シテ更ニ之ヲ内地ニ送ラントスル時ハ二分半ノ子口稅ヲ納メテ子口稅單ヲ受ケ通過特權ヲ得ヘシ

ト、製造品若シ内水汽船航行規則ニ從ヒ青島ヲ去ル時ハ同種ノ物品カ同様ノ運送事情ノ下ニ出發ノ際若クハ途中又ハ内地ニ於テ課セラルル凡テノ關稅、租稅、手數料ヲ納ムルモノトス、但シ青島ニ於テ該製造品ニ對スル二分半ノ子口稅ヲ納ムル時ハ右ノ内地雜徵ヲ免レ通過特權ヲ得ヘシ

チ、製造品ヲ青島ヨリ陸路内地ニ送ル時ハ内水汽船航行規則ニ從ツテ送リタルト同様ノ取扱ヲ受クヘシ

## 三、内水汽船航行規則ニ從テ輸入セラルル支那產原料品

リ、製造品ヲ外國ニ送ルトキハソノ中ニ含まルル原料品ニ對シテ輸出稅全額ヲ課スルカ、或ハ荷主ノ希望ニヨリ製造品ソノモノニ課スヘシ、但シソノ稅額ハ保證書ニ記スル所ト同額トス

ヌ、製造品ヲ清國條約港ニ送ルトキハソノ中ニ含まルル原料品ニ對スル稅率表規定ノ關稅全額ヲ青島ニ於テ、沿岸貿易稅ヲ著港ニ於テ納ムヘシ而シテソノ以後ハ支那品トシテ取扱ハラルモノトス、但シ荷主ノ希望ニヨリテハ製造品ソノモノニ對シテ課スヘシ、此場合ニ於テハ免稅證書



ヲ發行ス、此證書ヲ有スル製造品ハ外國品トシテ到着港ニ於テ課セラルル輸入税ヲ免セラルヘシ而シテ更ニ子口税二分半ヲ納ムルトキハ之ヲ内地ニ送ルニ付テ通過特權ヲ得ルモノトスル、製造品ヲ内水汽船航行規則ニ從テ送ルトキハ、ソノ中ニ用キラレタル原料品又ハ製造業者ノ希望ニヨリテハ製造品ソノモノニ對シテ沿岸貿易税ヲ課ス、且ツ同種ノ物品カ同種ノ運送事情ノ下ニ途中及内地ニ於テ納ムヘキ關稅、租稅、雜稅ヲ納ムルモノトス、右ノ原料品又ハ製造品ニ對スル關稅ヲ納メタル後、ソノ製造品ニ對シ更ニ青島ニ於テ子口税二分半ヲ納ムルトキハ内地ノ諸雜徵ヲ免レ通過特權ヲ得ルモノトス

ヲ、製造品ヲ陸路内地ニ送ルトキハ内水汽船航行規則ニヨツテ送リタルモノト同様ノ取扱ヲ受クヘシ

#### 四、陸路内地ヨリ來ル支那產原料品

ヲ、製造品ヲ外國へ送ルトキハ保證書中ニ記載セル原料品ニ對シ若クハ荷主ノ希望ニヨリテハ製造品ニ對シ青島ニ於テ輸出税全額ヲ納ムルモノトス

カ、製造品ヲ清國條約港ニ送ルトキハ、ソノ中ニ用キラレタル原料品ニ對スル輸出税全額ヲ青島ニ於テ沿岸貿易税ヲ到着港ニ於テ納ムルモノトス、而シテソノ以後ニ於テハ支那品ト同様ニ取扱ハルヘシ、但シ製造品ソノモノニ對スル税金ヲ納ムルモノ可ナリトス、此場合ニ於テハ免稅證

書ヲ下附サルヘシ、此證書ヲ有スルトキハ外國品トシテ陸上港ニ於ケル輸入税ヲ免セラルルモノトス、而シテ、更ニ内地ニ送ラントスルトキハ二分半ノ子口税ヲ納メハ通過特權ヲ受クヘシ

ヨ、内水汽船航行規則ニ從テ製造品ヲ送ルトキハ、荷主ノ希望ニヨリ或ハソノ中ニ用キラレタル原料品ニ對シ或ハ製造品ソノモノニ對シ、青島ニ於テ沿岸貿易税ヲ納ムヘシ、而シテソレ以後ハ、同様ノ運送事情ノ下ニアル同種ノ物品ト全ク同様ニ内地關稅、雜稅、雜徵ヲ拂フヘキモノトス、但シ青島膠州海關ニ於テ、該製造品ニ對スル二分半ノ子口税ヲ納メテ子口税單ヲ受ケ通過特權ヲ得タルモノハ此限リニアラス

タ、上記ノ如ク、届出アリタル原料品ヲ原狀態ノママ、若クハ製造品トシテ獨逸領ヨリ陸路内地へ送ルトキハ支那品トシテ支那ノ地ニ入り、同様ノ運送事情ノ下ニアル同種ノ物品ト同様ノ關稅、雜稅、雜徵ヲ課セラルヘシ

一九〇七年四月二十七日

青島ニ於テ

總督 トルツベル



### B 海關告示

#### 青島港ニ於ケル物品運航ニ關スル第二十九號海關告示

青島ニ於テ積載スル物品ハ、ソノ外國品タルト内地産タルトヲ問ハス又ソノ船舶ノ汽船ナルト帆船ナルト戎克ナルト輕軻ナルト「サムバン」タルトヲ問ハス、將又、ソノ行先キノ支那ノ港ナルト外國ノ港ナルトヲ問ハス、凡テ海關ノ検査ヲ受クヘシ、積荷申告書及關稅領收書ナキモノハ積載スルコトヲ得ス、灣外ニテノ積載ハ衙門橋ト砲臺トノ間ノ海岸ニ於テ、灣内ニテハ小「タバウ」島港ノ海岸ニ於テスヘシ、石炭、石油、木材、穀物等大容積ノ物品及ソノ他ノ物品ノ積載ハ特別ノ申請ニヨリ他ノ場所ニテモ之ヲナスコトヲ得

一部變更セラ  
ル、即チ、一九  
〇四年ニ開カ  
レタル「大港」  
カ殆ント唯一  
ノ積載所トナ  
レリ、但シ支  
那形船舶ハ  
「小港」ヲ以  
テ積載所トス

海關ノ銀行ハ  
德亞銀行ノ外  
清順銀行アリ

- 一、海岸又ハ棧橋ニ於テ積載スル前ニ於テ、ソノ積載セントスル物品ノ申告書ヲ差出スヘキモノトス、申告書又ハ關稅領收書ナキ物品ハ沒收ス
- 二、獨逸語、英語及支那語ヲ以テ記セル申告書用紙ハ海關本部ノ徵稅係ニ於テ發行ス、一枚ハ無料ナルモ多數ナルトキハ製作實費ヲ徵收ス
- 三、海關本部ノ執務時間ハ午前九時ヨリ午後四時迄、會計係(德亞銀行)ハ午前ハ九時ヨリ十二時迄午後ハ二時ヨリ四時迄、検査係ハ朝六時ヨリ夕六時迄トス、日曜日及祭日ハ海關ヲ閉鎖ス

- 四、海關本部ニ差出スヘキ申告書ニハ船名、行先地名、俵梱ノ荷章、番號、數、包裝法、物品ノ種類、數量、價格ヲ稅率表中ノ名稱及度量ニ則リテ記載スヘシ
- 五、物品ノ検査ハ官設検査場ニ於テスルヲ原則トス、港外ニ於テ積載スル物品ハ青島橋畔ノ海關出張所、灣内及小港ニ於テ積載スル物品ハ小港海關出張所ト定ム、通關検査ハ普通ノ官設ノ場所以外、私設倉庫等ニ於テ濟マセ得ヘカラサルカ、如何ナル事情、如何ナル條件ノ下ニ之ヲナスヘキカニ付テハ、運送ノ事情ニ鑑ミテ海關之ヲ決定スルモノトス、若シ官設ノ場所以外ニ於テ検査ヲ受ケンコトヲ欲スルトキハソノ旨ヲ届ケ出ツヘシ、午後検査ヲ受ケントスル物品ハ午前中ニ、午前ニ検査ヲ受ケントスルモノハ前日中ニ於テ該物品検査準備ノ整フ時刻ヲ右届出書ニ記スヘシ、検査ノ順序ハ届出ノ順序ト物品検査準備整成ノ時刻トニ依ルモノトス
- 六、徵稅及通關手續完了様式 物品検査ヲ了ヘテ不正ナキヲ確メタル時ハ検査官ハ申告書ヲ海關本部ニ返付ス、本部ハソノ返付ヲ受ケタルトキハ會計部(德亞銀行)ニ拂込ムヘキ稅金納入告知書ヲ荷主ニ交付ス、荷主ハ此告知書ニ依リ該金額ヲ右ノ銀行ニ拂込ム時ハ銀行ハ拂込濟證ヲ交付ス、此拂込濟書ハ本部ニ於テ稅金領收書ト引換ヘラルヘシ、領收書ノ代リニ船載許可證又ハ貨物引換證ニ海關ノ割印ヲ受クルコトヲ得
- 七、小港ニ於ケル小荷物徵稅小港ニ於テ積載スル物品ノ検査及旅客攜帶小荷物ノ通關ヲ容易ナラシ



ムル爲メ獨逸帝國政府ノ許可ヲ得テ、小港ニ一海關支部ヲ開設セリ  
小港ニ於テ積載スル物品ハ此ノ支部ニ於テ検査ヲ受クルモ、將タ本部ニ於テ受クルモ、ソハ商人  
ノ隨意タルヘシ、但シ右ノ如キ物品ニ對スル税金ハ、前ノ如ク、德亞銀行ニ納ムヘク、税金領收  
證ハ本部ニ於テ受取ルヘシ、領收證ハ檢了ノ際海關官吏ニ提示シ、且ツ物品ニ添附シ置クモノト  
ス

一海關兩ハ此  
數年來一五  
二弗ニ通用セ  
テ變ス  
合ハ時ニヨリ

旅客ノ小荷物等ハ支部ニ於テ検査ヲ受ケ、其處ニ揭示シアル稅率表ニ從ツテ納稅スルコトヲ得、  
但シ弗ヲ以テ拂フモノトス(一海關兩 $\parallel$ 一五〇弗 $\parallel$ 一二〇〇分)、支部ニ於テ交付サレタル税金領  
收書ハソノ物品ニ添附シ置クヘク、且ツ要求サレタル場合ニハ之ヲ提示セサルヘカラス  
小荷物ト見做サル物品ハソノ課セラルヘキ關稅一海關兩以下ナルモノヲ謂フ  
八、遲延、申告書ノ提出遲レ、検査ヲ受ケントスル物品ノ準備整ハス、税金納入ノ遲延シ、又ハ大  
數量ノ商品カ或ハ旅客荷物トシテ或ハ釘付ノ箱ニテ携帯セントシタルヲ検査シタル爲メニ生シタ  
ル遲延ニ對シテ海關ハ責任ヲ負フコトナシ  
九、虛偽ノ申告、數量及種類ニ付テ虛偽ノ申告ヲナシ又ハソノ他ノ方法ニヨリテ密輸入ヲ計リタル  
物品、税金領收證ナキ物品、積荷場(前文ヲ見ヨ)以外ニ於テ船積ヲナシタル物品ハ之レヲ沒收  
ス

一九〇二年四月八日

青島ニ於テ  
膠州海關ニテ エー、オールマー

### 小包郵便物取扱ニ關スル第六十六號海關告示

(一九〇六年官報第一頁)

一九〇五年十二月二日附保護領内ニ於ケル關稅徵收規則第七節及同日附通過規程ニ基キ一九〇三年十  
二月二十三日附第四十四號告示ヲ廢止シ、小包郵便海關取扱ニ關スル左ノ規程ヲ一九〇六年一月一日  
ヨリ實施ス

#### 一、小包ノ託送

##### 第一條

内地行ノモノヲ除キ、其他凡テノ小包ニ付テハ、ソノ内容ヲ記載シタル申告書ヲ海關ノ小包検査部ニ  
差出スヘシ、徵稅ハ左ノ規則ニ依ルモノトス  
イ、内地ヨリ來リタルモノニシテ、獨逸、ソノ他ノ諸外國及北京ニ向ケ輸出サルル凡テノ物品ニ對  
シテ課稅ス



ロ、支那産ニアラスシテ既ニ輸入税ヲ納メタル物品ハ之ヲ輸出スルモ課税セス  
 ハ、小包ヲ開封セサル場合ニ於テハソノ登記價格ノ五分ヲ課ス  
 ニ、税額〇・七五弗以下ナルトキハ課税セス、但シ二箇以上ノ小包ニシテソノ發送人、名宛人及内容ヲ同フセル場合ニハ、ソノ合計シタル税額〇・七五弗以上ナラハ徵税スヘシ  
 ホ、検査ヲ了シタルトキハ割印ヲ捺捺ス、發送者ハ自ラ之ヲ郵便局ニ持參スヘシ

二、輸入小包郵便物

第二條

支那内地竝ニ海港ヨリ來ル小包ハソノ仕出港ノ海關標録ナキトキハ通關検査ヲナス

第三條

獨逸若クハ他ノ諸外國又ハ支那ノ諸港ヨリ來ル小包ニシテ保護領ニ於ケル私用ヲ目的トセス且ツ課税額一弗ヲ超エサルモノナルトキハ海關ニ於テハ免税ノ旨表記シタル後、郵便局ヨリ之ヲ受取ルヘキモノトス

第四條

右ノ外凡テノ輸入小包ハ税率表規定ノ輸入税ト相當ノ雜徴トヲ納メタル後、海關ハ之ヲ税金拂濟證ト引換ニ受取ルヘキ權利アルモノニ引渡スモノトス、但シ納税ノ爲メ郵便局カ受取權利者ヲ代理セル場

合ニアリテハ、郵便局之カ配付ヲナスヘシ

三、直行小包郵便物

第五條

内地ヨリ來ル凡テノ直行小包郵便物ハ通關検査ヲ受ケサルヘカラス、但シ支那ノ港ノ通關標録アルモノハ此限リニアラス

第六條

内地ヨリ來ル凡テノ直行小包郵便物ハ通關検査ヲ受ケ、税率表規定ノ税金ヲ納ムヘシ

第七條

内地ニ居住スル受取人ハ(從ツテ發送人モ)納税ノ代理ヲ郵便局ニ依頼スルコトヲ得、此場合ニ於テハ  
 〇・二〇弗ノ手数料ヲ拂フヘシ

四、書式、税金、本位貨幣、執務時間

第八條

内容申告書用紙ハ海關ニ於テ發賣ス、一枚十分、十枚〇・一〇弗トス

第九條

税金ハ弗本位ニテ拂フモノトス、支拂ヒタルトキハソノ額ニ對スル拂濟證ヲ交付ス



第十條

海關小包取扱所ハ午前九時ヨリ十二時迄、午後一時ヨリ五時迄小包ノ運送ヲ取扱フ、但シ日曜日ハ休業ス

一九〇五年十二月二十日

青島海關ニテ

オー ル マ ー

通關検査實行ニ關スル第六十七號海關告示

(一九〇六年官報第三頁)

第一條

自由地域ニ於ケル通關検査實行ノ爲メ當分三派出所ヲ置ク

甲、陸路、自由地域ヲ去ル凡テノ物品ヲ検査シ課税スル爲メニ、鐵道港驛附近、自由地域ニ至ル港街ニ假検査所ヲ設ク

乙、鐵道ニ依テ自由地域ヲ去ル凡テノ物品ニ對シ、鐵道廢驛附近ニ検査所ヲ置ク

丙、海路、自由地域ヲ去ル凡テノ物品ノ検査ノ爲メニ防波堤上水標舍附近ニ検査所ヲ置ク

第二條

自由地域ニ於テ積載セントスル食料品、原料品、軍需品(武裝用具)ノ検査ハ便宜ニ從ヒ、港街若クハ水標附近ノ派出所ニ於テ同所駐在ノ吏員之ヲナス、俵捆ノ内容ヲ記載セル送狀ニ之ヲ差出シタル商店ノ署名アルトキハ之ヲ税金領收證ニ代ヘテ割印ヲ押捺シ以テ船積スルコトヲ得シムヘシ

碇泊所ニアル船舶ニ對シテハ青島橋畔及小港検査所ニ於テ右ト同様ノ手續ヲ行フモノトス

一九〇六年一月

青島海關ニ於テ

オー ル マ ー

無税輸入品ノ検査ヲ迅速ナラシムルコトニ關スル  
第六十九號海關告示

(官報一九〇六年第五二頁)

無税輸入品及ソノ他ノ物品ノ検査ヲ速ナラシムル爲メニ下記ノ諸點ヲ注意スルコト荷受取人ニ取ツテ有益ナルヘシ

一、輸入品ノ免税申請ハ左ノ形式ニ依ルヲ宜シトス



第何…(税關規則又ハ通過規程ノ條項)ニヨリ免稅申請…通常ノ申請書ノ如ク、俵梱ノ數及名稱、價格、仕出地及直行貨物ナラハソノ直行汽船ノ名ヲ記シテ規定ノ如ク内容ヲ表明スルノ外尙左ノ事ヲ附加スヘシ

イ、若シ政府宛ノモノナラハ、政府規定ノ證明書

ロ、若シ製造所又ハ產業場宛ノモノナラハ、該物品ハソノ工場用ノモノナル旨ノ當該商店ノ言明、之レニ付テノ用紙ハ海關ニ於テ發賣ス

ハ、通過規程ニ基キ、保護領ニ於ケル需要ヲ目的トスルモノナラハ、之レニ關スル表明、關係契約書、ソノ他證據トナルヘキ書類

二、申告書、表明書ニハ當該商店ノ署名ヲ要ス

三、大港トノ距離遠隔ナル地ニ居ル人及午後ハ業務ノ多忙ナル人若シ鐵道ニヨリテ自由地域以外ニ貨物ヲ發送セントスル時ハ、ソノ前日中ニ於テ通關手續ヲ濟マセ置クコト宜シカルヘシ

米、木材、石油等ノ大容積ノモノヲ積込マントスル時ハ税金領收書ヲ受取ル以前ニ於テ自由地域ノ高級検査官ニ宛テ書面ヲ以テ検査ヲ依頼シソノ許可ヲ受クヘシ、但シ積載シタル車輛ハ領收書ヲ受取ラサル間ハ運轉スルヲ得ス

海關ハ上記ノ命令ヲ遵守セサル爲メ生シタル遲延ニ對シテ責ニ任セス

一九〇六年二月七日

青島ニ於テ

膠州海關ニテ オールマー

### 兵器及彈藥ヲ清國へ輸入スル事ニ關スル第九十六號海關告示

(一九〇八年官報第二〇九頁)

第九十一號海關告示中ニ含マルル、兵器及彈藥ヲ支那へ輸入スルニ關スル規程ハ、總稅務司ノ命令ニ從ヒ、一九〇八年六月三十日限り之ヲ廢シ左ノ改正規程ヲ七月一日ヨリ實施ス

#### 一、陸軍兵器及彈藥

兵器及彈藥ヲ輸入セントスルモノアルトキハ、之ヲソノ州ノ都統、總督若クハ都督ハ清國官憲ヲ通シテソノ詳細(俵梱ノ名稱、數、輸入港、仕向地等)ヲ陸軍部ニ電奏シ同部ノ許可ヲ得タル後許可證(護照)ヲ發行スヘシ、陸軍部ハ此詳細ヲ稅務司ニ報シ、稅務司ハ更ニ之ヲ海關道及(稅關長ヲ通シテ)當該海關理事等ニ報告スヘシ、カクテ後、ソノ實際ノ俵梱數、護照ノ所載ト一致スルトキハソノ陸揚ノ地ニ於テ許可ヲ與フルモノトス

輸入ヲ終ル毎ニ、ソノ日附ヲ稅務司ニ報シ、稅務司ハ之ヲ陸軍部ニ報告スヘシ



二、兵器及彈藥ノ見本

兵器及彈藥ノ見本ヲ輸入セントスル外國商人ハ支那官憲ニ提示スル爲メニ、領事ヲ經テ海關道ヨリ准運護照（輸入許可證）ヲ受ケ之ヲ申告書ト共ニ海關ニ差出スヘシ、然ルトキハ海關之ヲ通過セシムヘシ

輸入各一回毎ニ同種ノ銃器四挺及之レニ對スル藥包二千發ヲ超ユル輸入ヲナスコトヲ得ス

當該商人ハ是等見本ハ何人ニモ賣却セサルヘキ旨ノ保證書ヲ差入レサルヘカラス、又是等見本ハ、海關ヨリ要求サルル時ハ何時ニテモ検査ヲ受ケサルヘカラス

事情疑ハシキモノアル場合ニ於テハ、海關道ハ許可證ノ發行ヲ拒ム事ヲ得、發行ヲ拒絕シタルトキハ書面ヲ以テ、己レノ處置ニ付テ領事ニ通知スルモノトス

三、護身用兵器及彈藥

イ、身分アル外國人ニシテ、海路又ハ陸路支那ニ來ルモノハ、ソノ手荷物中ニ護身用トシテ、「ピストル」一挺、連發銃一挺及之レニ對スル五百發ヲ超エサル藥包ヲ携帯スルコトヲ得、但シ到着ノ際之ヲ通告シ、又ハ検査ヲ了リタル後通告スルコトヲ得ルモノトス、此命令ニ背クモノハソノ通告セサリシ兵器等ヲ沒收ス

ロ、支那在住ノ身分アル外國人ニシテ護身ノ目的ノ爲メニ兵器及彈藥ヲ輸入セント欲スル者ハ、ソノ

輸入前ニ於テ、領事ヲ經テ、海關道ヨリ准運護照ヲ得、之ヲ申告書ト共ニ海關ニ提示セサルヘカラス、一外國人ハ每一箇年ニ一回、「ピストル」一挺、連發銃一挺、彈藥五百發以内ヲ輸入スルコトヲ得ルモノトス

事情疑ハシキモノアルトキハ海關道ハ護照ノ發行ヲ拒ムコトヲ得、但シソノ場合ニ於テハ己レノ處置ニ付テ書面ヲ以テ領事ニ通知スヘシ

ハ、規定ニ據リ發行シタル「パス」ヲ所持シ、旅客トシテ支那内地、西藏、蒙古、土耳其斯坦ニ行クモノ、規定ニ從ヒ告知書ヲ差出ストキハ、護身ノ目的ノ爲メニ携帯スルコトヲ得ル兵器及彈藥ノ數量ハ上ニ定メタル數量ノ二倍迄許サルモノトス

ニ、外國人カ上ノ規定ニ從テ護身ノ爲メニ輸入スルコトヲ得ル兵器ハ携帯ノ「ピストル」ト連發短銃ニ限ルモノトス

陸軍用及海軍用兵器並ニ彈藥ハ（一）見木トシテ用キラルルモノニシテ、ソレニ對シ發行サレタル護照ヲ海關道ニ提出シタル場合（二）支那陸海軍官憲若クハ文官ノ注文品ニシテ海關道ノ證明書ヲ添附シタル場合ニ限り輸入スルコトヲ得

外國人ハ私用ニ供スルモノナリトノ口實ノ下ニ軍用銃器及軍用彈藥ヲ不正ナル方法ヲ以テ輸入セント試ムヘカラス



#### 四、遊獵用兵器及彈藥

四六

イ、身分アル外國人ニシテ海路又ハ陸路支那ニ來ルモノハソノ手荷物ノ中ニ三挺以内ノ獵銃及三千發以内ノ彈藥ヲ携帯スルコトヲ得、但シ到着ノ際、海關ニ通告シ検査ヲ受ケ、税金ヲ納ムルヲ要ス、此命令ニ背クモノハソノ通知セサリシ銃器等ヲ沒收セラルヘシ既ニ通關シタル銃器ヲ新ナル彈藥ト共ニ右ノ手續ニテ輸入サレタルトキハ二者共ニ免稅ス

ロ、身分アル支那在住外國人ニシテ獵銃又ハ彈藥ヲ輸入セント欲スルモノハ輸入前ニ於テ、領事ヲ通シテ海關道ヨリ准運護照ヲ得テ之ヲ申告書ト共ニ海關ニ差出スヘシ、此手續ヲ了レハ該兵器ヲ通過セシムルモノトス

支那在住ノ外國人ハ、毎一年一回、三挺ヨリ多カラサル獵銃、三千發ヨリ多カラサル彈藥ヲ輸入スルコトヲ得、疑ハシキ事情アルトキハ海關道ハ許可證ヲ下附セサルコトヲ得、此場合ニ於テハ海關道ハソノ處置ニ付テ書面ヲ以テ領事ニ通知スヘシ

ハ、外國商店モシ獵銃及彈藥ヲ輸入セント欲スルトキハ領事ヲ通シテ海關道ヨリ許可證ヲ得サルヘカラス、且ツ輸入ノ際、是等ノ物件ハ、直接ニモ間接ニモ決シテ之ヲ如何ハシキ人物ニ賣渡ササルヘキ旨ノ保證書ヲ海關ニ差入ルルヲ要ス、右ノ方法ニヨリ、各一商店カ毎一回ニ於テ輸入シ得ル銃器ノ數ハ、若シソレカ或人々ノ注文ニ係ルモノニシテソノ人々ノ住所姓名カ海關ニ差出セル申告書中

ニ記載シアル場合ニハ六箇マテヲ許スト雖モ、若シ然ラスシテ單ニ倉庫ニ置カントスルモノナル場合ニハ四箇ヲ超ユルコトヲ得サルモノトス

一、外國商店カ一回ニ於テ輸入シ得ル彈藥ハ、ソノ凡テノ種類ヲ合算セル總量一萬發ヲ超ユルコトヲ得ス

ニ、「外國人ノ輸入スル獵銃及彈藥」ナル語ハ遊獵用「シロート」銃及ソレニ對スル彈藥ノミヲ意味スルモノトス、軍用銃器及軍用彈藥ハ如何ナル口實ノ下ニモ之レカ不法ノ輸入ヲナスコトヲ得ス

#### 五、軍用銃器及彈藥輸入禁止

清國政府ノ陸海軍官憲及文官カ購買スルニ非サレハ陸海軍用銃器及彈藥ヲ輸入スルコトハ現行條約ノ禁スル所ナリ

#### 六、海關取扱

二、三、四ノ規定ニ從ツテ輸入シタル兵器及彈藥ニハ五分ノ從價稅ヲ課ス

#### 七、積換

上海以外ニ在住ノ外國人カ護身若クハ遊獵用ノ目的ヲ以テ輸入セル銃器及彈藥ヲ、上海ニ於テ積換ヘシントスルトキハ當該國ノ領事、ソノ商人ノ氏名及包裝物ノ數ヲ海關道ニ申出テテ其ノ許可ヲ受クヘシ此積換ヲナシタル貨物目的港ニ著シタルトキハ領事ヲ通シテ海關道ヨリ許可證ヲ受ケ、之レヲ貨物ト

四七



共ニ海關ニ提示シ検査ヲ受ケ税金ヲ納ムヘシ、カク税金ヲ納メタル後ハソノ貨物ハ自由ナリ

八、濫用取締規定

以上ノ諸規定ハ今回新ニ發シタル命令ニ基ケルモノニシテ諸國ノ公使カ申出タル諸種ノ困難故障ハ之ニヨリテ減却スルコトヲ得ヘシ、是等ノ規定ハ一九〇八年七月一日ヨリ實施スルモノトス、本令實施以前ニ於テ輸入シタル兵器及彈藥ハ舊規定ニヨツテ取扱フ本規定ハ、ソノ實施以後ニ於ケル凡テノ濫用ヲ取締ル爲メ、必要ニ應シテ屢變更サルルコトアルモノトス

一九〇八年七月一日

青島清國海關ニテ

フォン、プロツクドルフ

以上海關告示ヲ公ニスルニ付テ注意スヘキコトハ

- 一、告示ニ從ヒ海關道ニ向ケ届ケラルヘキ凡テノモノハ青島海關ニ差出スヘシ、海關ハ内地在住若クハ内地ヘ行カントスル外國人ニ對シテ兵器輸入護照及兵器攜帶許可證ヲ發行ス
- 二、保護領内ニ於テ使用スヘキ兵器ノ輸入ニ關シ發布サレタル特別規定ハ依然效力ヲ保ツモノトス

一九〇八年七月十九日

青島ニ於テ

清 國 政 府

戎克出港認可ニ關スル第一三四號海關告示

(一九一一年官報二二一頁)

戎克出港認可手續ヲ簡易ナラシムル爲メ左ノ規程ヲ定ム

第一條

凡テノ戎克ニ番號旗ヲ授ク、膠州灣外ノモノニハ白文字ニテ番號ヲ表ハセル赤旗ヲ、灣内ノモノニハ、赤文字ニテ番號ヲ表ハセル白旗ヲ授ク

第二條

此旗ハ青島ノ外碇泊所<sup>アウセンビヤ</sup>ニ至リテ、<sup>トモ</sup>艦ニ掲揚スルモノトス、海關検査官之ヲ見テソノ船ニ上リ船舶證書ト輸入積荷目錄トヲ受取り戎克ト積荷トヲ検査シタル後青赤色ノ輸入旗ヲ交付ス、此旗ハ番號旗(第一條)ノ下ニ掲ケ以テ通關濟ノ表示トス、輸入旗ハ入港ノ際灣港駐在ノ海關官吏ニ引渡スヘシ、之ヲ終レハ荷卸ヲナスコトヲ得

第三條

出港セントスル戎克ハ輸出荷ヲ積込タル後、ソノ關係セル海關派出所ヨリ「輸出旗」(青白)ヲ受ケ之ヲ番號旗(第一條)ノ下ニ掲クルモノトス、青島外碇泊所ニ到着スレハ直チニ檢了シテ、海關ハ船舶證書



ヲ還付シ輸出旗ヲ受取ルナリ、カクテ後戎克ハ自由トナルヘシ

第四條

天候險惡ノ時ハ、海關ハ白地ニ赤ヲ引キタル流旛<sup>フキカシ</sup>ヲ青島橋畔倉庫ノ旗竿ニ掲ク、此信號アルトキハ出入ノ小戎克（運送力三百擔迄<sup>ビブル</sup>ノモノヲ小戎克トス）ハソノ出港ノ場合ニ於テ外碇泊所ニ碇泊スルコトナク直チニ目的港ニ向テ運送ヲ續クルコトヲ得

第五條

大戎克ハ此ノ特典ヲ享クルコトナシ  
灣内ニ於テ荷物運送ノ補助ヲナス小戎克ハ、荷ヲ積込ミタル時ハ小ナル黄色旗ヲ渡サルヘシ、此旗ハ、著港荷卸終了ノ時海關官吏ニ還付スヘシ

第六條

滄口ニ於テ新鮮ナル野菜及菓物ヲ積込ム戎克、若シソノ代表者カ豫メ海關ニ相當ノ保證金ヲ差入ルル時ハ、同所ニ於ケル検査ヲ於テ終結ノモノトスルコトヲ得ヘシ、發航後ニ於テ代表者ハ滄口出港ノ輸出稅ヲ青島海關本部ニ納ムヘシ、此戎克ハ青島外碇泊所通過ノ際、番號旗ヲ掲クルヲ要ス  
野菜及菓物以外ノ物品ヲ積載セル戎克ハ右ノ特典ニ與カルコトヲ得ス

第七條

海關ヨリ授ケラレタル旗ヲ濫用スルモノハ右ノ特權ヲ失フモノトス  
一九一一年七月一日  
青島ニ於テ  
膠州海關ニテオールマー

港部海關ニ關スル第一三六號海關告示

(一九一一年官報二四九頁)

汽船及外國形帆船ノ出港及積荷管理局(總局)ハ海關本部ヨリ自由港口ナル海關支部ニ移轉シ、海關本部内ノ同局ハ同日限り之ヲ閉鎖ス  
港部海關ノ取扱フ事務ハ汽船、外國形帆船ノ入港、出港、之レニ積載セル輸出入品ノ検査、徵稅、竝ニ庫入レ、自由港ヨリノ輸出及是等一切ニ必要ナル證書並書類ノ發行ヲ含ム  
上記ノ船舶、物品等ニ關スル尋問ヲナシタルトキ及是レカ報告ハ口頭若クハ書面ヲ以テ之ヲ本部ニ通告スヘシ、海關銀行ハ港部海關構内ニ在リ、稅金ハ之レニ納入スルモノトス  
戎克海關、小包郵便取扱所、兵器及阿片倉庫ハ舊ノ如ク本部内ニ在リ  
私設倉庫中ノ輸出品検査ニ關スル申告ヲナスニハ青島及「タウパウタウ」市ノ商店ハ申告書ヲ海關本部



五二  
ニ、「タウバウタウ」以北ノ商店ハ申告書ヲ港部海關ニ差出スヘシ、申告書ニハ精密ニ日時ヲ記載シ前  
日内ニ於テ之ヲ差出スヘシ

一九一一年八月十日

青島ニテ

オ ー ル マ ー

## C 附 則

### 兵器及彈藥ノ輸入、輸出及貯藏ニ關スル告示

(官報一九九六頁)

一九〇五年三月二十五日告示(一九〇五年官報六五頁)ヲ廢シ、兵器及彈藥ノ輸入、輸出及貯藏ニ付キ  
左ノ如ク規定ス

#### 第一條

獨逸政府又ハ獨逸海軍ノ所有ニアラサル兵器及彈藥カ保護領ニ到着シタルトキハ各俵相ノ内容ヲ精シ  
ク記載シテ海關ニ申告シ、倉荷預證券ト引換ニ之ヲ海關出張所ノ倉庫ニ預ケ入ルヘシ  
船舶又ハ荷上場ヨリ海關出張所迄輸送スルニハ一俵相ニ對シテハ〇・二五弗、大俵相ニ對シテハ〇・  
五〇弗、小俵相ノ海關倉庫ニ於ケル貯藏ニ對シテハ、一箇月ニ付〇・一〇弗、同大俵相ニ對シテハ〇・二  
〇弗ヲ海關ニ納ムヘシ、但シ何レモ運搬賃ヲ含ム、小俵相トハソノ重量ニ五キログラム、容積〇・五〇  
メートルヲ超エサルモノヲ云フ、預入レノ月ハ一箇月トシテ計算ス、十日以内ノ貯藏ニ對シテハ徵稅  
セス

#### 第二條



特別ノ場合、自由地域ニ於ケル私設倉庫ニ貯藏セントスル時ハ之ヲ保稅貨物トシテ海關ノ許可ヲ受クヘシ、貯藏者ハ海關ニ納ムヘキ稅金ヲ免レンカ爲メニ海關ニ通知セスシテ積荷現在高ヲ變更セサルヘキコトヲ海關ノ要求ニ依リ、表明スルノ義務アルモノトス

第三條

營業免狀ノ下附ヲ受ケテ兵器及彈藥ヲ取扱フコトヲ許サレタル商人ハソノ營業場内ニ販賣品貯藏所ヲ設クルコトヲ得、但シソノ中ニ同種ノ兵器二十、同種ノ彈藥二千發以上ヲ貯フルコトヲ許サス、兵器及彈藥貯藏品ニハ帳簿ヲ備ヘ置キ販賣毎ニ、ソノ月日、購買人ノ姓名、販賣シタル箇數ヲ記載シ、何時ニテモ貯藏現在高ト照合シテ乖違ナカラシムコトヲ要ス

兵器又ハ彈藥ヲ、再輸出ノ爲メ、之ヲ保稅入庫セル商人ハ營業免狀ヲ要セスシテ、ソノ營業場ニ見本置場ヲ設クルコトヲ得、但シ同種兵器二箇、同種ノ彈藥二十發以上ヲ置クコトヲ得ス

第四條

海路輸出セントスル兵器及彈藥ニ付テハ普通ノ輸出規則ヲ適用ス、海關ハソノ船積ヲ監視スヘシ内地ヘノ輸入ハ山東總督ヨリ特別ノ「パス」ヲ受クルコトヲ要ス「パス」ハ輸入申告書ト共ニ海關ニ呈示スルモノトス、内地在住ノ支那人以外ノ者ノ私用ニ供スル爲メニ兵器ヲ彈藥ト共ニ送ラントスルトキハ他人ニ讓渡セサル保證ノ下ニ海關之ヲ許可スルコトアルヘシ

第五條

營業免狀ノ下附ヲ得テ兵器及彈藥ヲ取扱フコトヲ許サレタル商人ハ警察官ヨリ無料ニテ證明書ヲ受ク、之ヲ呈示シテ稅金ヲ納ムルトキハ、ソノ販賣品貯藏所ニ於ケル補充ノ爲メニ輸入シタル兵器及彈藥ヲ海關ヨリ引渡サルヘシ

右ノ如キ商人ニ非スシテ、保護領内ニ於ケル私用ノ爲メ若クハ見本用ノ爲メ輸入シタル兵器及彈藥ハ法定手數料九馬克(四・五〇弗)ヲ支拂ヒ民政部長ノ發行スル證明書ヲ得且ツ關稅ヲ納ムルトキハ海關ヨリ引渡サルモノトス

第六條

兵器、彈藥及爆發物ニ關スル諸規定ヲ遵守セサルモノハ處罰セラレヘシ、殊ニ注意ヲ要スルハ(一)、一九〇五年十一月九日附諸規則彙纂中(官報一九〇五年二四七頁)ノ一九〇四年十一月附營業免狀規則(二九〇四年官報二五一頁)第八條並ニ兵器及彈藥賣買營業免狀ニ關スル規定(二)、一九〇五年十一月一日附警察規則(一九〇四年官報二五五頁)ノ保護領内ニ於テ兵器及彈藥ヲ支那人ニ賣ルヲ禁シ賣揚帳ノ提示ヲ命セル件(三)、一九〇五年十二月五日附關稅徵收規則第十八條ヨリ第二十條ニ至ル(一九〇五年官報二六五頁)海關申告ノ義務、貯藏ハ政府ノ規定ニ從フヘキコト、兵器ノ「パス」ヲ提示スヘキコトヲ命セル件(四)、同規則第三十條ノ、郵便ヲ以テ保護領内ヘ輸入スルコトヲ禁セルコト(五)、同規



則第三十條ノ海關規則ヲ犯スモノハ沒收ト罰金トニ處セラルヘキコトナリトス

第七條

此告示ハ公布サレタル日ヨリ有效トス

一九〇六年十二月八日

青島ニ於テ

總督 トルツブル

兵器及彈藥ノ賣買ニ關スル件

兵器及彈藥ノ賣買ニ關シ左ノ如ク規定ス

- イ、獨逸領内ニ於テ支那人ニ對シ兵器及彈藥ヲ賣ルコトヲ禁ス
- ロ、三箇月毎ニ、賣揚高ヲ政府ニ届出ツヘシ

兵器及彈藥賣買ノ營業免狀ニ關スル件

兵器及彈藥賣買ノ營業免狀ヲ下附シタルトキハ毎年二百弗ノ税金ヲ納ムヘシ

阿片規則

(一九〇二年官報二七頁)

阿片ノ輸入検査ニ關スル一九〇〇年一月二十三日附規則及一九〇〇年一月二十三日及一九〇〇年九月十五日附獨逸領内ニ於ケル阿片使用實施規程ヲ廢シ左ノ規則ヲ一九〇二年四月一日ヨリ實施スルコトヲ命ス

一、總則

第一條

保護領内ニ於テ阿片收穫ノ爲メ罌子粟ヲ栽培スルコトヲ禁ス、此規則ヲ冒シ栽培シタルトキハ植栽シタルモノハ之ヲ撤去ス

第二條

阿片ハ原包裝ノママ輸入スヘシ、一箱<sup>キスト</sup>以下ノ量ハ輸入スルコトヲ得ス、又調合セル阿片ヲ輸入スルコトヲ得ス  
海路輸入スル阿片ハ著港ノ際之ヲ海關ニ提示スヘシ、海關ハ之ヲ監守シテ海關倉庫ニ運搬セシム、疑ハシキ物品アルトキハ運搬ヲ中止シ之ヲ検査スルノ權利ヲ有ス、此場合ニ於テ船舶指揮者ハ能フ限リ



検査ニ便宜ヲ與フヘシ

五八

内地ヨリ陸路阿片ヲ獨逸保護領内ニ輸入スルニハ鐵道ニ依リ速達貨物トシテ運送狀ヲ添附スヘシ、陸路阿片ヲ輸入スルニ是以外ノ方法ヲ取ルコトヲ禁ス、特ニ手荷物トシテ之ヲ輸入スヘカラス、阿片到着シタル時ハ鐵道ハ之ヲ海關ニ通告スヘシ、海關ハ之ヲ監視シテ海關倉庫ニ運搬セシム

### 第三條

獨逸領内ニ於テ使用スル爲メニ輸入スル阿片ハ支那ニ阿片ヲ輸入スルト同一ノ税金、即チ外國産阿片一擔<sup>ピセル</sup>ニ對シテ一〇海關兩、支那産阿片一擔ニ對シテ六〇海關兩ヲ納ムルモノトス、之ヲ納ムルトキハ海關官憲ハ之レニ特別ノ印章ヲ押捺ス、輸入者ハ之ヲ少量ニ分チ官ノ免狀ヲ有セル煙館所有者ニ販賣スルコトヲ得、但シソノ販賣ハ海關ニ依託スルモノトス

各喫煙者ノ用ユル阿片ハ政府及海關ノ監督ノ下ニ之ヲ調査包装シ上ニ官ノ標録ヲ附シ特許ヲ受ケタル商人ニ販賣セシム、各喫煙者ハ此ノ特許商人以外ノ者ヨリ購買スルコトヲ得ス

### 二、特別規程

### 第四條

阿片煙館ヲ開カント欲スルモノハ免狀ノ下附ヲ申請スヘシ、之ヲ受ケタルモノハ阿片ヲ購入シ調査シソノ店舗ニ於テ喫煙者ニ直接之ヲ販賣スルコトヲ得、但シ煙館以外ノ場所ニ於テ之ヲ使用セントスル

者ニ販賣スルコトヲ禁ス

### 第五條

阿片貯藏庫ヨリ、阿片煙館及調査阿片ノ販賣ヲ許サレタル商人ニ阿片ヲ交付スルニハ、輸入者ハソノ數量、煙館所有者若クハ當該商人ノ名ヲ届出テソノ交付方ヲ依託シ且ツ輸入免許狀ヲ呈示スルヲ要ス

### 第六條

阿片貯藏庫ニ於ケル依託交付高ハ日々之ヲ帳簿ニ記入シ何時ニテモ、ソノ日ノ貯藏現在高ト各煙館若クハ商人ノ買入高ヲ知り得ヘカラスヘシ、海關官吏ハ交付毎ニソノ數量ヲ免許狀ノ裏面ニ記入ス

### 第七條

煙館營業免狀ヲ受ケタルモノハ現在使用ノ燈數ニ應シテ税金ヲ納ムルモノトス、十燈マテ十弗、二十燈マテ二十弗、以上十燈ヲ増ス毎二十弗ヲ増スモノトス、此外、毎月各一燈ニ對シテ五十仙ノ附加稅ヲ納ムヘシ

### 第八條

阿片煙館ノ所有者ハ

- イ、海關倉庫ヨリ直接買入レタル官ノ標録アル阿片ノミヲ自家ニ於テ調査スルコト
- ロ、自家調査ノ阿片ノミヲ、ソノ場ニ於テ直接使用スル者ノミニ販賣スルコト

五九

阿片輸入税ハ  
高クナレリ、  
下ニ見ユル一  
九一一年六月  
八日阿片輸入  
ニ關スル告示  
參照



ハ、買入及賣揚ヲ精密ニ帳簿ニ記載スルコト  
ヲ實行スル爲メニ二名ノ保證人ヲ要ス、但シソノ保證人ハ商店若ハ土地ノ所有者タルヘキモノトス

第九條

阿片煙館ハ特定ノ看板ヲ掲ケ、左ノ規程ヲ守ルヘシ

イ、阿片ノ調合ハ阿片係リ官ノ監督ヲ受クヘシ、若シ規定ノ日時ニ於テ調合セサル時ハ、正規ニ從  
ツテソノ旨ヲ阿片係リ官ニ届出ヘシ

ロ、免狀ハ之ヲ下附サレタル人ニ對シ、ソノ中ニ記サレタル地方ニ於テノミ有效トス、之ヲ他人ニ  
讓渡スルコトヲ得ス、又阿片係リ官ノ許可ナクシテ煙館ヲ移轉スルコトヲ得ス

ハ、遅クトモ夜十二時ニハ店舗及煙館ヲ閉ツヘシ

此期限迄客ノ其場ニ留マル者アルトキハ入口ヲ開キ置クヘシ

ニ、阿片係リ官及警察官ハ何時ニテモ店舗及煙館ニ入ルコトヲ得、但シ阿片ヲ同僚ノ支那人警官ニ

對シ販賣又ハ交付ヲナスコトヲ禁ス

ホ、婦人及小供ノ入場ヲ禁ス

ヘ、周圍ニ對シ妨害又ハ迷惑ヲ與フルコトヲ禁ス

ト、火災ニ對スル注意ヲ怠ルヘカラス、戸ハ外方ヘ開カルル様ニ設備スヘシ

チ、燈及ソノ他ノ喫煙用具ヲ貸出スコトヲ得ス

リ、海關ノ押捺セル印章アル阿片包裝紙ハ阿片係リ官ノ出張アル毎ニ係リ官ニ交付スヘシ

ヌ、係リ官ノ職務上ノ命令ニハ進ンテ服従スヘシ

ル、煙館所有者ハソノ營業執行ニ對シテ責任ヲ有ス、病氣又ハ旅行ノ場合ニハ責任ヲ負フヘキ代表

者ヲ定メ氏名ヲ衙門總辦ニ届ケ出ツヘシ、煙館所有者ハ其代表者又ハ煙館ノ業務ニ與カレル者ニ

對シテ課セラレタル罰金ニ對シテ責任ヲ有ス、此連帶責任ハ秩序罰ノ宣告又ハ處分ノ中ニ言渡サ

ルルモノトス

第十條

自宅ニ於テ阿片ヲ喫用セント欲スルモノハ一燈ニ對シテ一箇月五十仙ノ免許狀下附料ヲ三箇月毎ニ豫  
納スヘシ、但シ阿片未製品ノ購入、貯藏及ソノ調合ヲ禁ス、官ノ監督ノ下ニ調合セル阿片ノ販賣ヲ許  
可セラレタル營業所ニ就テ調合品ヲ購入スヘシ

第十一條

自家喫煙免狀ハソノ名義人ニ對シテノミ有效トス、名義人ト雖モ、阿片ノ販賣、免狀、燈及用具ノ貸  
渡ヲナスコトヲ得ス

第十二條



免狀下附申請書ニハ精密ニ住所ヲ記載スヘク、轉住毎ニ衙門總辦ニ届出ツヘシ、免狀ノ更改及期間延長ニ付テハ滿期數日以前ニ於テ願出ツヘシ

第十三條

轉住又ハ其ノ他ノ理由ニヨリ免許ヲ棄權スル者ハ其ノ旨ヲ衙門ニ届出ツルト同時ニ該免狀ヲ還納スヘシ

第十四條

官ノ監督ノ下ニ調合セル阿片ノ販賣ヲ許サレタル營業所ヨリ阿片ヲ購入スルトキハ、免狀ヲ持參シ之レニ購入シタル阿片ノ數量、種類竝ニ購入月日ノ記入ヲ受クヘシ

三、罰則

第十五條

第二條ノ規程ニ悖リ、海路保護領内ニ阿片ヲ輸入シ、若クハ保護領ヲ通過輸送セント謀ルモノハ該阿片ヲ沒收シ且ツソノ價格ノ五倍ニ相當スル罰金ヲ課ス、但シ罰金ノ最低額ヲ一〇〇弗トス

第二條ノ規程ニ悖リ、海路阿片ヲ輸入シタルトキハ該阿片ヲ沒收シ且ツソノ船舶指揮者ニ對シ該阿片ノ價格ノ五倍ニ相當シ且ツ五百弗ヲ下ラサル罰金ヲ課ス、船舶ハ此罰ニ對シテ責任ヲ有スルモノトス

第十六條

第三條ノ規程ニ悖リ、煙館、個人喫煙者、又ハソノ他ニ於テ阿片ヲ私有シ居ルコトヲ發見シタルトキハ第十五條規定ノ罰ニ處ス、但シ第十五條ニ該當セサル時ハ罰金ノ最低額ヲ五十弗トス

第十七條

官ノ標録アル阿片箱ニ免許商人ノ販賣セル以外ノモノヲ詰入レタルモノハ第十六條規定ノ罰ニ處ス

第十八條

免狀ヲ有スル煙館又ハ個人喫煙者若シ此規則違犯ニヨリ處罰セラレタル場合又ハソノ信用スヘカラサルコトノ明トナリシ場合、又ハ此規則ノ特別規程若クハ阿片係リ官ノ命令ニ背キタル場合ニ於テハ民政部長ノ命令ニヨリテ該免狀ヲ褫奪スヘシ、但シ民政部長ハ免狀褫奪ノ代リニ秩序罰トシテ五十弗以内ノ罰金ヲ課スルコトアルヘシ

免狀褫奪處分又ハ秩序罰ニ對シテハ上訴スルコトヲ得ス

一九〇二年四月十一日

青島ニ於テ

總督 トルツバル



### 船舶及旅客ニ對シ阿片規則ヲ適用セサルコトニ關スル告示

(一九〇四年官報二二九頁)

個人喫煙者ニ對スル特別規程(一九〇二年四月十一日附阿片規則第十、第十一條、官報三七、三八頁)ハ外國港ヨリ獨逸領沿岸ニ來リ、但シ船荷ノ積込積卸ニ要スル時間以內ニ於テ獨逸領沿海ヲ去リタル旅客及船舶ニ對シテハ之ヲ適用セス、港ヨリ港ニ至ル途中使用料トシテ携帯スル少量ノ阿片ハ之ヲ海關ニ告知シ、ソノ密輸入品ト見做サレサランコトヲ要ス

一九〇三年十月十三日

青島ニ於テ

總督代理 ヤコブソン

### 煙館閉鎖ニ關スル告示

從來下附シタル保護領內ニ於ケル阿片煙館營業免狀ハ一九一一年限リソノ效力ヲ失フモノトス、而シテ、新ニ免狀ヲ下附セス  
煙館所有者ハ本年ノ末ニハ滯ナク煙館ノ閉鎖ヲナシ得ルヤウ業務ノ手配ヲナスコトヲ今ヨリシテ注意

スルコト必要ナルヘシ

一九一一年五月十二日

青島ニ於テ

總督 トルツベル

### 阿片關稅ニ關スル告示

帝國支那海關ノ公報ニヨレハ、外國阿片ニ對スル關稅ハ一擔ニ付一一〇海關兩ナリシヲ三五〇海關兩ニ、内國阿片ニ對スル稅金ハ一擔ニ付一一五海關兩ナリシヲ二二〇海關兩ニ引上ラレタリ  
一九一一年六月八日  
青島ニ於テ  
總督代理 ヘフナー

### モルヒネ規則

(一九〇九年官報四三三頁)

保護領法第十五條及一八九八年四月二十七日附普國宰相指令第一條ニ基キ左ノ規則ヲ定ム

「モルヒネ」及「コカイン」  
ソノ輸入スル支那ノ藥劑師及藥師  
コトハ只藥師  
商カニ關シモ  
支那ニ對シテ  
テニ對シテ  
規程ヲ遵守  
ル場所ニ於  
テスルモ



第一條

「モルヒネ」、「モルヒネ」注射器、「モルヒネ」針、ソノ他「モルヒネ」使用器具ヲ製造シ及ヒ政府ノ許可ナクシテ保護領内ニ輸入スルコトヲ禁ス

第二條

第一條ニ記セル物品輸入ノ許可ハ、只醫師、藥劑師及病院ニ限り、免許狀中所載ノ特別規定ニ從ツテ與ヘラルルモノトス

第三條

此規則又ハ輸入許可ニ關スル特別規定ニ背犯スルモノハ五百弗以内ノ罰金ニ處ス、罰金ヲ徴收スル能ハサル場合ニハ三箇月以内ノ禁錮ヲ以テ之レニ代フヘシ、且ツ違法ニ輸入シ若クハ製造シタル物品ハ沒收ス

第四條

此規則ハ發布ノ日ヨリ效力ヲ有スルモノトス

一九〇九年二月十九日

青島ニ於テ

總督 トルツベル

「コカイン」規則

(一九一一年官報一五五頁)

保護領法第十五條及一八九八年四月二十七日附普國宰相指令第一條ニ基キ左ノ規則ヲ定ム

第一條

「コカイン」ノ輸入及ソノ調合品ノ製造竝ニ「コカイン」使用器具ノ輸入及製造ハ政府ノ許可ナクシテ之ヲナスコトヲ禁ス

第二條

第一條ニ記セル諸物品ノ輸入免許ハ只醫師、藥劑師及病院ニ限り、免狀所載ノ特別規定ニ從ツテ之ヲ與フルモノトス

第三條

此規則若クハ輸入免許ニ關スル特別規定ニ違犯スルモノハ五百弗以内ノ罰金ニ處ス、罰金ヲ徴收スル能ハサル場合ニハ三箇月以内ノ禁錮ヲ以テ之レニ代フヘシ、且ツ違法ニ輸入シ若クハ製造シタル物品ハ沒收スルモノトス

第四條



此規則ハ發布ノ日ヨリ其ノ效力ヲ有ス

一九一〇年十月一日附「コカイン」規則(官報二七七頁)ハ之ヲ廢止ス

一九一一年五月四日

青島ニ於テ

總督代理 へ ブ ナ ー

### 阿片輸入ニ關スル告示

(一九一二年官報二六五頁)

支那海關ノ公報ニヨレハ、印度產ナラサル外國阿片ハ一九一二年一月一日以後之ヲ支那ニ輸入スルヲ禁セラル、之レト關聯シテ、青島保護領ニ於テモ右ト同様ニ輸入ヲ禁止ス

一九一一年八月二十四日

青島ニ於テ

總督代理 へ ブ ナ ー

### 内水汽船航行ニ關スル特別規則

(一九〇四年官報一九三頁、膠州灣政廳公布)

#### 第一條

青島ヨリ内水ヲ往復スル汽船ノ航行ニ關シテハ一般ニ一八九八年七月竝同年九月ノ規則及一九〇二年九月ノ追加規則ニ依ルヘキモノナリト雖モ尙特ニ左記ノ規定ヲ遵守スヘキモノトス

#### 第二條

内水航行免狀ハ青島ニ於ケル帝國清國海關之ヲ發給ス、此ノ免狀ヲ受ケントスルモノハ船籍證書ヲ添附シ免狀ノ下附ヲ申請スヘシ、免狀有効期間ハ之ヲ一箇年トシ毎年書換フルコトヲ要ス

#### 第三條

免狀ヲ有スル汽船ハ一般規定(第一條)ニ從ヒ獨逸領諸港以外ニ左記ノ如ク航行スルコトヲ得

(イ) 青島ヨリ内地ノ一所若クハ數箇所ニ往復スルコト

(ロ) 青島ヨリ内地ニ至リ、更ニ條約港ニ至リ、再ヒ内地ヲ經テ青島ニ歸航スルコト

特別ノ許可ナクシテ専ラ内地ノ諸港間ノミヲ往復スルコトヲ得ス

#### 第四條

航行中ニ通過スル認可貿易場ニ於テ積荷若クハ乗客ヲ陸揚シ又ハ搭載スルトキハ其ノ旨海關ニ通告シ且ツ地方ノ諸稅ヲ納ムルコトヲ要ス

#### 第五條



條約港ヲ發シ該港ヨリ内水航行ヲナサントスルトキハ該港所在ノ海關ニ通告シ且ツ該港所定ノ諸規則ヲ遵守スヘキモノトス

七〇

#### 第六條

青島港ニ於テハ商港ニ關スル諸規則及其ノ他船舶ノ交通ニ關シ發布セラレタル諸規則ヲ遵守スヘキモノナリト雖モ尙同港出入ノ際ハ埠頭事務所並ニ清國海關ニ輸出入積荷目錄ヲ提出シ仕向港若クハ仕出港ヲ届出テ規定ノ關稅及諸稅ヲ納ムヘキモノトス

#### 第七條

阿片及禁制品ヲ積卸スルコトヲ禁ス、海關ハ此目的ノ爲メニ船舶検査ヲ行フコトヲ得

#### 第八條

船舶指揮者ハ清國郵便物交換所ノ郵便物ヲ無賃ニテ取扱ヒ之ヲ同局ヨリ受取リ又同局ニ引渡スノ義務ヲ有ス

#### 第九條

清國海關ハ内水航行免狀下附料トシテ初度發給ノ際十兩ヲ書換料トシテ年々書換ノ都度二兩ヲ徵收ス清國ノ一港ヲ出發港トスル船舶ハ四箇月毎ニ登簿噸數每一噸ニ付五錢ノ噸稅ヲ納ムヘシ、但シ百五十噸以下ノ船舶ニ對シテハ每噸一錢トス、青島ヲ出發港トスル船舶ハ右ノ外同港規定ノ諸稅ヲ納ムヘキ

モノトス

#### 第十條

本規定ヲ犯スモノハ三百弗以下ノ罰金ニ處シ且ツ免狀ヲ褫奪ス、第七條ノ規定ニ違背シタルトキハソノ物品ヲ沒收シ且ツ五百弗ノ罰金ヲ課ス、再犯ノ場合ニハ免狀ヲ褫奪スヘシ

#### 第十一條

本規則ハ本日ヨリ效力ヲ有スルモノトス

一九〇四年八月十九日

青島海關ニ於テ

チエー、チエー、シツールマン



## D 附 錄

### 支那内水汽船航行規則

(二八九八年七月)

#### 甲、登 錄

第一條 條約港ニ於テ特ニ登録サレタル内國又ハ外國ノ汽船ハ左ノ規定ノ下ニ支那ノ内港ヲ自由ニ往來シ貿易スルコトヲ得、但シ内港ニ於ケル貿易ニ限り許サルルモノニシテ支那ノ國境ヲ越ユルコトヲ得ス、内港トハ芝罘條約第四條ニ謂フ所ノ「内地」ト同義ナリトス

第二條 外洋航海ヲナス型式ノ船舶ニアラスシテ條約港間、竝ニ内港ニ航行スル内國又ハ外國ノ貿易汽船ハ其本國法ノ規定ニ從ヒ免狀ヲ所持スル以外ニ海關ニ於テ汽船ノ型式及名稱、船員數等ヲ詳記セル免狀ヲ受クヘシ此海關免狀ハ毎年新ニ書換フルコトヲ要シ汽船所有者ノ變更シタルトキ又ハソノ汽船ノ使用ヲ廢止シタルトキハ還付スヘキモノトス海關免狀初回ノ下附料ハ關平銀十兩トシ毎年ノ書換料ハ一回ニ付同シク二兩トス

第三條 登録済汽船ハソノ都度海關ニ通報スルコトナク條約港内ヲ自由ニ航行スルコトヲ得、但シ内港ニ航行セントスルトキハ出航及歸航毎ニ届出ツヘシ

海關免狀ヲ所持セサル汽船ハ内港ヲ航行スルコトヲ得ス

第四條 内港航行ノ汽船ハ船燈ノ掲揚、衝突ノ豫防、船員ノ備入備止、汽罐及機械ノ検査等ニ關シ汽船所屬ノ港ニ行ハレ居ル規定ヲ遵守スヘシ是等ノ規定ハ海關之ヲ公示シ海關免狀ニ記載スヘキモノトス

#### 乙、徵 稅

第五條 登録済ノ汽船カ内港ヘ輸送センカ爲メニ本規則ニ從ヒ條約港ニ於テ有稅貨物ヲ積載シタルトキハ之ヲ海關ニ届出テ海關規定ノ輸出稅ヲ納ムヘシ内港ヨリ條約港ヘ有稅貨物ヲ輸送シタル場合ニハ同條約港ノ海關ハ該貨物ニ對シ右ト同様ノ取扱ヲナスヘシ

外國商人所有ノ汽船カ納ムヘキ關稅ニ關シテハ條約ニ定メタル稅率ニ依ル

第六條 登録済ノ汽船カ内港ニ於テ貨物ヲ陸上ケシ又ハ積込ミタル場合ニハソノ陸上ケ又ハ積込ヲナシタル地ニ於テ行ハルル規定ニ從ヒ凡テノ稅金及釐金ヲ納ムヘシ外國商人所有ノ汽船ニ對シテハ條約ニ規定セル稅率ニ比例シテ徵收スルモノトス

第七條 登録済ノ汽船カ曳船ヲナス場合ニハ該汽船ハソノ被曳船カ検査ヲ受クヘキ各釐金監視所ニ於テ停船セサルヘカラス該汽船及被曳船中ノ貨物ニ對シテハ該釐金監視所ノ定ムル規則ニ從ヒ取扱ハルルモノトス外國商人ニ遵守ヲ命スル規定ハ必ス條約ノ條項ト一致スルモノタルコトヲ要シ且ツ海



關ハ必ス其ノ全文ヲ公示スヘシ

海關ノ特別免狀ヲ有セサル汽船ハ楊子江ニ於テ曳船スルコトヲ得ス

第八條 凡ソ内港ニ於テ罪ヲ犯シタル者ハ其ノ税則ニ違背シタルモノナルト生命又ハ財産ニ關スル犯罪ナルトヲ問ハスソノ地方官憲ハ該犯罪ニ對シ該地ニ行ハルル法律ニ從ヒ處斷スヘキモノトス、但シソノ犯罪カ外國人所有ノ船舶ニ係リ、其犯罪者カ外國人ノ船舶ニ使用スル支那人ナルトキハ地方官憲ハ之ヲ最近海關ノ稅務司ニ通告シ稅務司ハ更ニ之ヲ該船舶ヲ管轄スル領事館ニ通告シ、領事館ハ吏員ヲ派シテソノ裁判ニ立會フコトヲ得若シ犯罪者カ外國人ナルトキハ條約ニ從ヒ護照ノ條章ニ依リ之ヲ最近海關ノ稅務司ニ送致シ稅務司ハ之ヲ當該領事官ニ送致シテ辨理セシム

第九條 登録濟ノ汽船ニシテ鈔關又ハ釐金監視所ニ於テ停船スヘキ場合ニ停船セスシテ通過シ去リ又ハソノ旅客船員等カ内港ニ於テ騷擾ヲ惹起スル如キ行爲アリタルトキハソノ鈔關及釐金監視所ノ定ムル規則ニ從ヒ罰金又ハ其ノ他ノ刑ニ處セラルヘク且ツ海關ハ該船舶ノ免狀ヲ取消シ將來該汽船カ内港ニ於ケル貿易ニ從事スルコトヲ禁スルコトアルヘシ

若シ該汽船カ外國商人ノ所有ニ係ルトキハ該商人ハ事件ノ全部ヲ又ハ罰金問題ニ付キ同治七年即チ一八六八年公布ノ船貨沒收ニ關スル會審裁判規則ニ依リ處斷セラレンコトヲ請求スルコトヲ得前各條ノ規定ハ汽船ノ運航ヲ取締ル爲メ當分假ニ定ムル所ニシテ將來變更ノ必要起ルトキハ隨時改

訂スヘキモノトス

一八九八年七月二十八日北京ニ於テ

### 華洋輪船駛赴中國内港章程

領牌掛號

- 一、中國内港嗣後均准特在口岸註冊之華洋各項輪船任便按照後列之章往來專作内港貿易不得出中國之界前往他處内港二字即與煙臺條約第四端所論內地二字相同
- 二、非出海式樣之各項華洋貿易輪船或在口岸内駛行或往來内港除按本國律章應隨有之牌照外尙須赴稅務司處請領關牌其關牌内應將業主姓名籍貫註明並將船名船式及水手人數等項按行開列每年換領一次如改業主及停止貿易等事即將所領之關牌繳銷初次領牌應納牌費關平銀十兩其後每年換領新牌納費二兩
- 三、此項輪船如祇在口内駛行無須每次赴關呈報一切惟若欲前往内港於出口回口時俱應一體報關無關牌者一概不准前往内港
- 四、此項輪船所有懸掛燈蓋防範碰撞及招雇更換水手與查驗水鍋機器等事俱須遵照各該口原有之章程辦



理該章程應由海關頒布並刊入關牌內

稅課辦法

七六

- 五、此項輪船如在各口照此章程裝載應稅之貨駛赴內港應即報明海關由關核定應否照完何項出口稅如由內港裝載應稅之貨駛回本口應即報關由關一體核辦凡屬洋商之船應完何稅即按條約稅則辦理
- 六、此項輪船在內港各處起貨下貨應照該處定章遵納各項稅釐凡屬洋商之船應照此條約稅則比例辦理
- 七、此項輪船若拖帶船隻被拖之船應於何處釐卡候驗則該輪亦應於該處停輪該輪所裝之貨並被拖之船所載之貨俱照各該卡之章程辦理惟洋商應遵之章須與條約相符仍由海關一體頒布長江輪船若無海關特照一概不准拖帶貨船
- 八、凡在內港犯事者無論或違背稅章或毆辱人命或盜竊財產等事均須由該處地方官按懲辦本處人民之律章審斷惟若係洋人之船即犯事者為洋人船上所用之華人應由地方官一面知照就近口岸之稅務司轉告該船之領事官該領事官即可派員前赴觀審若犯法者為洋人應照條約所論護照之條將其人送交就近口岸之稅務司轉交該領事官辦理
- 九、凡此項輪船如經過稅關釐卡等處並不遵允停輪或搭客水手等在內港地方滋鬧肇衅等事即照各關卡定章罰辦一面由海關將該船之船牌撤銷不准復往內港貿易倘係洋商之船以審斷案情及罰款均請照同治七年會訊船貨入官章程辦理亦可

以上所擬足為現時管理此項輪船之章嗣後如有應行修改之處即可隨時酌情改訂

支那內水汽船航行追加規則

(一八九八年九月)

- 第一條 汽船ニ依リ外國貨物ヲ内地ニ輸入スルトキハ商人ハソノ希望ニ從ヒ或ハ子口稅單 (Transit Pass) ノ交付ヲ受クルカ或ハ途中ノ各釐金監視所各鈔關ニ於テ釐金又ハ其ノ他ノ諸稅ヲ納ムルカハ商人ノ隨意タルヘシ該貨物カ仕向地ニ到著シタルトキハ到著地ニ於テ課セラルヘキ稅金又ハ釐金ノ納付ニ關シ汽船ハ其責ニ任セス、但シ密ニ貨物ヲ陸揚ケスルコトヲ得ス
- 第二條 條約港ニ於テ内地品ヲ積載シ内港ニ航行セントスル汽船ハ其旨ヲ該港ニ於ケル海關ニ届出テ内國船所載輸出品ニ關スル規則ニ依リ輸出稅ヲ納ムヘシ又航行中ニ通過スル鈔關又ハ釐金監視所ニ於テハ内國船所載ノ内地品カ内地ニ於テ支拂フヘキ凡テノ釐金及其他ノ諸稅ヲ支拂フヘシ海關ニ届出タル貨物カ已ニ他港ニ於テ輸出稅ヲ支拂ヒタルモノナルトキハ本條ノ輸出稅ヲ支拂フコトナク船積スルコトヲ得、但シ内港ニ於ケル釐金及其他ノ諸稅ハ一般輸出品ノ場合ト同様ニ之ヲ納ムヘキモノトス、到著地ニ於テ商品ニ課セラルヘキ凡テノ釐金又ハ稅金ノ納付ニ關シテハ汽船ハ其出發港

七七



ノ何處ナルニ關セス其責ニ任セス、但シ密ニ貨物ヲ陸揚スルコトヲ得ス

七八

第三條 内港ニ於テ其ノ他ノ釐金及諸稅ヲ支拂ヒテ汽船ニ船積シタル内國品ハ本内港ヨリ他ノ場所ニ輸送セラルル途中ニ於テ本内港ニ於テ支拂ヒタル釐金及諸稅ノ支拂濟ナルヤ否ヤヲ證明スヘキコトヲ要求セラルルコトナシ、但シ航行ノ途中鈔關又ハ釐金監視所ヲ通過スルトキハ、該關所ノ定ムル規則ニ從ヒ釐金又ハ稅金ヲ納付セサルヘカラス汽船カ條約港ニ到著シタル場合ニハ其商品カ國內ニ消費セラルヘキモノナルトキハ内國船ニ依リテ輸送セラルル同様ノ内地品カ課セラルルト同一ノ稅金ヲ當該局所ニ納ムヘシ此稅金以外ノ釐金、雜稅、地方稅、諸費用等ヲ納付ニ關シテハ汽船ハ其責ニ任セス

支那人又ハ外國人ニシテ内國品ヲ内地ヨリ外國ニ輸出セント欲スルトキハ所謂鎮江子口單章程ニ從ヒ保證ヲ差入レテ三聯單 (Transit Certificate) ノ交付ヲ受クルカ又ハ航行中ニ於ケル各地方ノ規定ニ從ヒ釐金及其ノ他ノ諸稅ヲ支拂フカハ該商人ノ隨意タルヘシ

外洋又ハ河川航行ノ汽船ニ積換フルノ目的ヲ以テ内地ヨリ輸送サレタル貨物ハ條約ノ規定ニ依ル輸出稅以外何等ノ稅金ヲ賦課セラルルコトナシ

第四條 内港航行ノ汽船ハ凡テソノ登録港ニ於テ四箇月毎ニ條約稅則ノ規定セル率ヲ以テ噸稅ヲ納ムヘシ汽船ニ曳カルル支那被曳船ハ所定ノ「船料」ヲ納ムヘシ

第五條 汽船ニ曳カルル支那被曳船積載ノ貨物ハ汽船積載ノ貨物ト同様ニ納稅スヘキモノトス

第六條 支那及外國汽船ハ内國船カ貿易ニ常用スル場所以外ニ於テ荷揚スルコトヲ得ス此規定ニ背キタル汽船ハ沿海密貿易船舶ニ關スル條約ノ規定ニ從ヒ處斷セラルヘシ又内港貿易ニ從事スルカ爲ニ登録ヲ受ケタル船舶ニシテ支那ノ國境外ニ貨物ヲ輸送シタルモノハ二百兩以内ノ罰金ニ處セラレ再ヒ犯スモノハ内港貿易ニ從事シ得ル權利ヲ剝奪セラルヘシ

第七條 條約港ヨリ内港ニ航行セントスル船舶カ其旨ヲ海關ニ届出テタルトキハ海關ハ船舶ノ積載シタル貨物ノ名稱數量ヲ詳記セル貨物證書 (Cargo Certificate) ヲ交付スヘシ航行途中ニ於ケル鈔關又ハ釐金監視所ハ貨物證書ニ基キ各種ノ課稅ヲナスヘク、密輸入ノ嫌疑アル場合ノ外ハ船舶ヲ留置スルコトヲ得ス

陸揚セラルヘキ凡テノ貨物ノ積荷目録ハ陸揚地ニ於テ之ヲ提出スヘシ (若シソノ陸揚地カ條約港以外ナルトキハ其積荷目録ハ支那文ヲ以テ記スヘシ)

第八條 本規則第七條ニ規定セル各種ノ稅金ヲ課スヘキ内港ニ於ケル鈔關及釐金監視所ノ諸規則ハ本年末 (支那曆) マテニ公布セラルヘシ其ノ公布セラルル迄ハ船舶ハ各釐金監視所ニ於テ停船スルコトナク通過シ去ルモ何等ノ罰ヲ受ケサルヘシ、但シ監視所又ハ同所ノ監視船カ停船又ハ停止ヲ命スルニ拘ハラス通過シ去ル場合ハ此限りニ在ラス

七九



第九條 前條內港ニ於ケル鈔關及釐金監視所ノ諸規則カ公布セラレタルトキハ條約港所在ノ各省行政長官ハ責任アル官吏ヲ條約港ニ駐在セシメ内地ニ赴キ又ハ内地ヨリ來タル貨物ニ對シ第二條及第三條規定ノ諸税金ヲ徵收セシムヘシ該官吏ハ省行政長官ニ對シ一定ノ時期ニ於テ徵收報告ヲナスヘシ該官吏ハ一船舶カ某處ヲ仕向地トシテ貨物ヲ船積シタルトキノ航行中ニ通過スヘキ鈔關又ハ監視所ニ於テ支拂フコトヲ要スル諸税金全額ノ前徵收ヲ爲シ受領書ヲ船舶ニ交付スヘシ船舶カ此受領書ヲ各鈔關、釐金監視所ニ提示スルトキハ其ノ貨物ハ再ヒ税金ヲ賦課セラルルコトナク又ハ煩ハシキ審問ヲ受クルコトナシ該官吏ハ第二條及第三條規定ノ諸税金ヲモ一括シテ之ヲ徵收ス該官吏ハ海關附近ニソノ事務所ヲ設ケ稅務司ト和衷會辨スヘク專斷ヲ許サス苟モ疑問又ハ困難ナル事件起リタル場合ニハ稅務司及海關監督ハ適宜ニ之ヲ處理スヘシ事若シ外國人ニ關スルモノナルトキハ會審裁判ノ規定ニ從テ之ヲ處理スルコトヲ得

本補則ハ本則ト同シク假規定ニシテ必要アラハ其都度變更スヘキモノトス

一八九八年九月北京ニ於テ

### 內港行輪補續章程

- 一、凡有輪船裝載洋貨入內地或領取子口稅單或沿途逢關納稅遇卡抽釐均聽商便該貨已到指運之處所有本地應征稅釐即與該船無涉惟該船不得私起貨物
- 二、凡在通商口岸將土貨載輪船運往內港應先報明該關照民船裝貨出口完稅之例完納出口正稅該輪船往內港所裝之土貨若遇關卡須按該處章程完納各項稅釐等款與民船辦法絲毫無異若所報之貨爲復進口之土貨已在他口完清出口正稅即無庸重征出口正稅惟該貨沿途仍應按內地章程完納各項釐捐、與他項貨物無異、該貨無論由何處運來已到指運之處所有本地徵稅釐即與該船無涉但該船不得私起貨物
- 三、凡土貨在內港已裝輪船欲運他處即可認明係已完該處之各項稅釐嗣後無庸再行呈有該處已完稅釐之據惟遇沿途關卡仍須按該處之章程完納稅釐該輪到口時該貨若係在本地售用向係在該處徵稅與民船所運之貨徵稅無異除此項稅餉之外所有各項稅釐捐款經費等事即與該輪船無涉若所裝之土貨係欲運往外洋或照本章程辦理或照鎮江子口單章程立具保結領取三聯報單均聽華洋各商之便凡運土貨到口欲立即撥過出口船隻者於徵收出口正稅之外餘不再徵
- 四、凡華洋各輪往來內港每四箇月一律在掛號之口按章徵納船鈔一次民船拖帶者必須按章完納船料
- 五、凡有民船裝載貨物被輪船拖帶者其貨物徵稅辦法與輪船之貨無所區別
- 六、凡華洋輪船往來內港必須在民船貿易常用之碼頭起貨下貨不准在別處任便起下如違章在別處起下即照條約所載沿海私作貿易之條辦理又掛號之行駛內港船隻若駛赴中國境外初次罰銀在二百兩以內再犯



者不准在內港貿易

七、行駛內港船隻報明往內港時本口海關應發給本關總單一紙內註明該船載有何項貨物斤兩若干等事以便至沿途各關卡時呈驗若徵納稅釐即按總單徵納惟疑有跡繞近影射者亦可即時盤驗至該輪到起貨之處船主須備一艙口單內註明在該處所應起之貨物各類若干

八、原章第七款所載各該卡之章程應以本年為限由中國將各卡章程頒布衆知其未經頒布以前如有船隻過內港各關卡不行停輪候驗尙不得違行議罰惟該輪若經本處關卡或巡船換令停輪竟不遵照停候者應即議罰

九、內港各關卡之章程頒布後通商各口應由該省大憲各派一妥慎之員代收輪船往來內港之稅釐等項由該員按定期呈報大憲查核遇有輪船報明欲往內港何處該員即將該輪所裝何貨若干沿途應經某關卡共應完納稅釐若干核明總數先行徵收隨即發給總單一紙以便前往貿易該輪過沿途關卡時即將此單呈驗放行不得阻滯至本章程第二三款所載之稅亦由該員一併核收各該員應於新關附近之處設立局所與本口稅務司和衷會辦不可自專遇有疑難事件應請本口稅務司與監督通融酌議辦理若案中牽涉洋人即可任便商酌按照會訊章程辦法辦理

### 芝罘條約 (英清間)

(一八七六年九月十三日、芝罘ニ於テ調印、一八七六年九月十七日批准)

#### 第三章 (四)ノ末項

稅則附則第七條ニ洋貨ヲ内地ニ輸入シ又ハ内地ニ於テ購買シタル内國生産品等トアル所謂「内地」トハ外國貿易ノ爲ニ開放セラレサル海岸河岸及陸上ノ各處ヲ指スモノトス清國政府ハ是等ノ地ニ於ケル不正行爲ヲ防カンカ爲ニ法ヲ設クルノ權利ヲ保有ス

### 通商條約 (英清間)

(一九〇二年九月五日、上海ニ於テ調印、一九〇三年七月二十八日批准交換)

#### 第十條

一八九八年清國ノ内水ハ條約港ニ於テ特ニ登録サレタル凡テノ汽船ニ對シ開放セラレ、一八九八年七月二十八日附ノ規則及一八九八年九月附ノ補則實施サレシニ間々不便ノ點アルヲ發見シタルニヨリ兩國ハ之レカ修正トシテ新規定ヲ本條約ニ附載スルコトニ合意ス、新規定ハ更ニ相互ノ一致ニヨリテ變



更セラルル迄有效トス

又江門ヲ開放シテ條約港トスルコト及英國汽船ハ一八九七年二月四日附緬甸協約ノ特別條項ニ指定セ  
ル外、更ニ白吉、羅定口、都城ノ三寄航港ニ於テ、楊子江(西江)ノ寄航港ニ行ハルルト同一規定ノ下  
ニ乘客貨物ノ陸揚積込ヲナスヲ得且ツ長江<sup>ウエストリバー</sup>ノ容奇、馬寧、九江、古勞、永安、後瀝、祿步、悅城、陸都、封川  
ノ十停泊所ニ於テ乘客ヲ上陸セシムルヲ得ルコトヲ合意ス

一八九四年四月一日附緬甸國境及通商協約修正協定 (英清間)

(一八九七年二月四日、北京ニ於テ調印)

(特別條項ノ第二項)

廣西ノ梧州府、廣東ノ三水及江根ヲ開放シテ條約港且ツ領事館駐劄所トナスヘキコト、汽船ハ香港ヨ  
リ三水及梧州ニ至リ及廣州ヨリ三水及梧州ニ至ル經路ニシテ帝國海關カ選定豫告スル一ヲ自由ニ往來  
スルヲ得ルコト、及江門、甘竹、肇慶府及德慶州ノ四所ヲ寄航港トナシ楊子江ノ寄航港ニ於ケルト同  
一規定ノ下ニ乘客及貨物ノ取扱ヲナシ得ルコトヲ相互ニ合意セリ

英清通商條約(一九〇二年)附則内水汽船航行追加規則

第一條 英人汽船所有者ハ二十五箇年以内ノ期限ヲ以テ水路ノ兩岸ニ於テ倉庫及埠頭ヲ清國臣民ヨリ  
租借スルコトヲ得、但シ期限滿了後相互合意ノ條件ヲ以テ更ニ契約ヲ更新スルコトヲ得、英國商人  
若シ満足ナル條件ヲ以テ清國臣民ヨリ倉庫及埠頭ヲ租借スルコト能ハサルトキハ地方官ハ商務大臣  
ト協議ノ上現ニ行ハレ居ル公平ナル料金ヲ以テ租借セシムヘク又契約期限滿期後ニ於テモ之レカ更  
新ヲナスコトヲ得セシムヘシ

第二條 埠頭ハ内地水路及船舶ノ航行ニ障礙トナラサルヤウ築造スヘシ之カ築造ニ當リテハ最近海關  
ノ海關長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス、許可ヲ與ヘタルトキハ海關長ハ故ナク之ヲ取消スコトヲ得ス  
第三條 英國商人ハ是等ノ倉庫及埠頭ニ對シ附近ニ於ケル同種物件ノ清國人所有者カ支拂フト同一ノ  
税金及貢納金ヲ納ムヘキモノトス、若シ英國商人内水貿易ニ從事スル汽船ノ寄航スル地點ニ倉庫ヲ  
租借シタルトキハ之レニ居住シテ業務ヲ行フ代理人及事務員ニハ清國人ノミヲ使用スヘキモノトス  
但シ英國商人ハ隨時是等ノ地ニ出張シテソノ業務ノ状態ヲ監督スルコトヲ得、如上ノ規定ハ清國カ  
清國臣民ニ行フ支配權ニハ之レカ爲メニ毫モ左右セラルル所ナキモノトス

第四條 清國ノ内水ヲ航行スル汽船若シ河岸又ハ河岸上ノ營造物ヲ損傷シタルトキハソノ損傷ノ爲メ



ニ蒙リタル河岸所有者ノ損害及ソノ損傷ニ基キ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ヲ負フモノトス、若シ水路淺クシテ航行ノ爲メニソノ堤岸損傷ヲ蒙リ延イテ近隣ノ地ニ及ハントスル虞アル場合ニ於テ、清國カソノ特殊ノ淺河ニ於ケル航行ヲ禁止セント欲シ之ヲ英國官憲ニ訴ヘタル場合、英國官憲若シ此申出ノ正當ナルヲ認ムルトキハ同官憲ハ英國人ニ對シ同所ニ於ケル航行ヲ禁止スヘシ、但シ清國人モ亦同様ニ禁止セラルヘキモノトス、中外人共ニ現ニ内水ニ存スル堰閘ヲ通過航行シテ同所ニ於ケル設備ニ損傷ヲ與ヘ水利ヲ害スルコトアルヘカラス

第五條 英國政府カ清國內水ノ汽船航行ノ爲メニ開放サレンコトヲ望ムハソノ目的主トシテ、内外國貨物ノ輸送ヲ容易迅速ナラシメントスルニアルカ故ニ清國內水ニ現ニ使用セラレ若クハ使用セラルヘキ英國ノ汽船ヲ其ノ所有者カ清人ノ會社ニ賣渡シ及清國々旗ヲ掲ケント欲スルコトアルモ英國政府ハ何等異議ヲ申出ルコトナカルヘシ清國內水ニ於ケル航行ヲ目的トシ清國ノ法律ニ從ツテ登記シタル清國會社ノ汽船ハ同會社ノ株主中ニ英國臣民アル場合ト雖モソノ故ヲ以テ英國ノ國旗ヲ掲クルコトヲ得ス

第六條 登録濟ノ汽船及ソノ被曳船共ニ、戎克ト同シク禁制品ヲ輸送スルコトヲ得ス、此規則ヲ犯スモノハ條約ノ規定ニヨリテ處罰セラレ且ツ該船舶ノ携帶セル内水航行免狀ヲ褫奪シ將來内水ノ航行ヲ禁スヘシ

第七條 内地居住ノ住民ハ汽船ノ往復ニ慣レサルカ爲メ其ノ航行ニ依リ驚愕擾ノ患アリ此ノ虞ヲ能フ限リ少カラシメンコトハ願ハシキコトナルカ故ニ從來汽船ノ往復シタルコトナキ内水ハ商人ノ便宜ニ顧ミ且ツ汽船所有者カ該地方ニ於ケル貿易ヲ有利好望ト認メタルトキ漸次ニ之ヲ開放スルコトトスヘシ

未タ汽船ノ往キタルコトナキ内水ニ汽船ヲ航行セント欲スル場合ニハ之ヲ最近通商港ノ海關長ニ申告スヘシ、而シテ海關長ハ更ニ之ヲ商務大臣ニ通知スヘシ、商務大臣ハ該州ノ總督又ハ知事ト商議シ一切ノ事情ヲ考慮シタル上速ニ之レカ許可ヲ與フヘシ

第八條 登録セラレタル汽船ハ一港内ヲ駛航スルコトヲ得、或ハ開港場ノ一港又ハ數港ヨリ他ノ開港場ノ一港又ハ數港ニ航行シ或ハ開港場ノ一港又ハ數港ヨリ内地ノ諸港ニ至リ、更ニ開港場ノ一港又ハ數港ヲ經テ歸航スルコトヲ得、又海關ニ對シ相當ノ届出ヲナストキハ航行途中ノ貿易認許場ニ於テ旅客又ハ貨物ヲ陸揚シ又ハ積載スルコトヲ得ヘシ、但シ清國政府ノ許可ナクシテ專ラ内地ノ諸港間ノミヲ往復スルコトヲ得ス

第九條 汽船ハ貨物船及乗客船ヲ曳クコトヲ得、但シ被曳船ノ舵手及水夫ハ清國人タルヲ要ス、内水航行ノ凡テノ被曳船ハ所有者ノ何人タルヲ問ハス内水ヲ駛航スル以前ニ於テ登録ヲ受クヘキモノトス



第十條 本規則ハ一八九八年七月及九月附内水航行規則ノ補則ニシテ該航行規則ハ本規則ト牴觸セサル限リニ充分ナル效力ヲ有シ本規則ト牴觸スル場合ニ於テハ本規則ヲ適用スヘキモノトス、本規則及一八九八年七月及九月附ノ規則ハ暫定ノモノトス、事情ノ之ヲ要求スルアラハ相互ノ合意ニヨリ變改スヘシ、基督紀元一九〇二年九月五日、即チ清曆光緒二十八年八月四日上海ニ於テ訂結ス

ジャス、エル、マツケー

盛 宣 懷

呂 海 寰

鎮江三聯報單章程 (譯文)

第一條 千八百七十六年八月三十一日以前ノ發行ニ係ル三聯報單ニシテ千八百七十七年八月三十一日マテニ内國品購入ノ爲メニ使用セス從テ購入地港ニ於テ通過證書ト引換ヘサルモノハ海關監督之ヲ無効トシ且ツ通過證書ヲ回收スヘシ、無効トナレル三聯報單ヲ用キテ内國品ヲ購入シ條約港ニ輸送スル者ハ該貨物ノ沒收處分ヲ受クヘシ  
千八百七十六年八月三十一日以後ノ發行ニ係ル三聯報單ニシテ其ノ發行ノ日ヨリ六箇月以内ニ使用

セサルモノハ此期間滿了ト同時ニ無効タルヘキモノトス

第二條 三聯報單ノ下附ヲ受ケントスル者ハ本規定ヲ遵守スヘキ旨及ヒ若シ本規定ニ違反シタル場合ニハ左ノ制裁ヲ甘諾スヘキ旨ヲ記載セル契約書ヲ差入ルヘシ

第一、三聯報單ニ記載セル貨物カ納付スヘキ輸出税ノ六倍ニ相當スル金額ヲ支那政府ニ納付スヘキ

コト

第二、三聯報單ニ記載セル貨物ノ留置權ヲ本契約履行ノ擔保トシテ支那官憲ニ許與スヘキコト而シ

テ此留置權ハ他ノ凡テノ請求權ニ優先スヘキコト

領事館ハ三聯報單ノ下附方ヲ海關監督ニ申請スルト同時ニ本契約書ニ署名ノ上之ヲ稅務司ニ差出スヘシ

第三條 (千八百七十九年四月改正) 發行ノ日ヨリ六箇月以内ニ使用セス從テ通過證書ト引換ヘサル三聯報單ハ無効タルヘキモノナルヲ以テ期限滿了ト同時ニ領事ヲ經テ海關監督ニ還付スヘシ無効トナレル三聯報單ヲ用キテ貨物ヲ條約港ニ輸送スル者ハ該貨物ノ沒收處分ヲ受クヘシ

盜難又ハ其他ノ事故ニヨリ三聯報單ヲ紛失シタル場合ニハ所持人ハ直チニ其旨ヲ鎮江海關ニ届出ツヘシ、海關ハ該三聯報單ヲ無効トシ且ツ之レニ對スル通過證書ヲ回收スヘシ紛失届出後ニ於テ他人カ紛失セル三聯報單ヲ使用スルトアルモ舊所持者ハ之ニ對シテ責任ヲ負フコトナシ



第四條 三聯報單ヲ用キテ購入シタル内國品ハ通過證書ヲ受領シタル日ヨリ起算シ六箇月以内ニ鎮江最近ノ釐金監視所ニ輸送スヘシ若シ違反シタル場合ニハ三聯報單ノ所持人ハ契約書ニ記載セル金額ヲ支那海關官吏ニ納付スヘシ

該貨物カ釐金監視所又ハ其他ノ官吏ノ爲メニ拘留セラレタルニヨリ若シクハ強力、洪水、盜賊等不測ノ事變ニヨリ途中ニ於テ延滞シ規定ノ時日内ニ鎮江最近ノ釐金監視所ニ輸送スルコト能ハサルトキハ三聯報單ノ所持人ハ事情ヲ具シテ其ノ地ノ地方官及鎮江海關監督ニ届出ツヘシ海關監督ハ情狀ヲ酌量シ相當ノ延期ヲ許可スルコトアルヘシ、若シ該貨物ヲ其延期期間内ニ鎮江最近ノ監視所ニ輸送セサル場合ニハ契約書ニ記載セル金額ノ納付ヲ命セラレ且ツ本規程第十條ノ處分ヲ受クヘシ

第五條 貨物カ鎮江最近ノ監視所ニ到著シタルトキハ貨物ノ包裝、名稱及數量ヲ稅務司ニ届出テ監視所通過許可書ノ下附ヲ受クヘシ、貨物カ鎮江埠頭ニ到著シタルトキハ直チニ之ヲ海關ニ報告シ検査ヲ受ケタル後子口半稅ヲ納付スヘシ、以上ノ手續ヲ經ルニアラサレハ貨物ヲ倉庫ニ入ルルコトヲ得ス本規程ニ違反スルトキハ契約書ニ記載セル金額ヲ支那海關官吏ニ納付セサルヘカラス

第六條 (千八百八十年、鎮江條約締結ニ與カレル領事ノ請求ニヨリ改正)三聯報單ヲ用キテ鎮江ニ輸送シ來リタル内國品ハ鎮江到著ノ日ヨリ起算シ六箇月以内ニ外國ノ港へ又ハ外國ノ港へ輸出スル目的ヲ以テ積換ノ爲メニ鎮江以外ノ通商港へ輸出スルコトヲ要ス、若シ此期間内ニ輸出ノ届出ヲ爲サ

サルトキハ該貨物ニ賦課セラルヘキ輸出稅ノ二十五割ニ相當スル金額ヲ海關ニ納付セサルヘカラス此金額ヲ納付スルトキハ輸出ノ義務ヲ免ルルモノトス

外國へ輸出スル目的ヲ以テ積換ノ爲メニ鎮江以外ノ通商港ニ輸出シタル場合ニハ貨物カ通商港ニ到著シタル日ヨリ起算シ六箇月以内ニ外國へ輸出スルヲ要ス、此期限内ニ外國へ輸出シタルトキハ輸出港ニ於ケル海關ノ輸出證明書ヲ得テ之ヲ鎮江海關ニ届出ツヘシ、此届出ヲナササルトキハ先キニ假納付シタル輸出稅半額ノ還付ヲ受クルコト能ハサルノミナラス更ニ輸出稅全額ノ納付ヲ命セラルヘシ

他港ニ於テ發行シタル三聯報單ヲ用キテ内國品ヲ購入シ鎮江ニ輸送シタルトキハ當該商人ハ鎮江海關暫行章程ニ從ヒ契約書ヲ差出スコトヲ要ス、若シ該貨物ヲ鎮江ヨリ輸出セサル場合ニハ鎮江海關ハ三聯報單ヲ檢閲捺印シタル後該貨物ヲ内地ヲ經テ他港ニ輸送シ三聯報單ヲ同港ノ海關ニ還付シテ同港ヨリ輸出スルコトヲ許可スヘシ

第七條 三聯報單ヲ用キテ購入シタル内國品ヲ船積前ニ改装セントスルトキハ其旨ヲ海關ニ届出ツヘシ

海關ハ検査ノ結果其同一貨物ナルコトヲ認メタルトキハ「改装許可證」ヲ下附シ且ツ倉庫ニ吏員ヲ派シテ其改装ニ立會ハシムヘシ



許可ナク改装シタル者又ハ他品ト代ヘ若シクハ他品ヲ加ヘテ任意ノ變更ヲナシタル者ハ契約書ニ記載セル金額ノ納付ヲ命セラルヘシ

第八條 三聯報單ヲ用キテ購入シタル内國品カ港内ニアル間ニ毀損シタル爲メニ價格ヲ減シタルコト明カナル場合ニハ其旨ヲ海關ニ届出ツヘシ、海關ハ吏員ヲ派シテ之ヲ検査シ損害價格ヲ評定シ、之レニ準シテ輸出税ニ對シ相當ノ割引ヲナスヘシ、當該商人カ毀損ノ結果貨物ノ輸出ヲ中止スルトキハ割引サレタル輸出税ノ二十五割ニ相當スル金額ヲ海關ニ納メ輸出ノ義務ヲ免カレ契約書ノ還付ヲ受クルコトヲ得

第九條 外國商人カ營業ヲ廢止シ又ハ他地ニ轉居スルトキハ未タ使用セサル三聯報單ハ直チニ領事ヲ經テ海關監督ニ還附スヘキモノトス又三聯報單ヲ用キテ内國品ヲ購入シタル場合ニハ該貨物カ輸送ノ途中ニアリテ未タ鎮江ニ到著セサルト已ニ鎮江ニ到著シタルモ未タ外國へ輸出前ナルト又ハ外國へ輸出スル目的ヲ以テ積換ノ爲メ他ノ通商港へ輸出シタルモ未タ同港ヨリ外國へ輸出前ナルトハ該貨物ヲ引受ケタル商人ハ該貨物ニ關スル契約ヲ繼承スヘキ旨ヲ記載セル契約書ヲ海關ニ差入ルヘシ

第十條 本規程ニ違反シタル場合ニハ領事ハ契約書ニ記載セル金額ノ納付ヲ當該商人ニ命スヘキモノトス此金額ヲ納付スルマテハ海關監督ハ該商人ニ對シ新ニ三聯報單ヲ下附セサルノミナラス已ニ下附シタル三聯報單モ無効トス且ツ通過證書ヲ回收スヘシ

發給三聯報單如何繳回暫行章程十條 (同上原文)

第一條

光緒二年七月十三日以前洋商所領三聯報單至三年七月二十三日之前尙未持往買貨在該子口未曾倒換運照者即由監督查銷並將運照札飭繳回如持已銷之單仍往內地買貨運口即將該貨全行入官其光緒二年七月十三日以後所領未用各單凡逾半年者亦即隨時查銷

第二條

各洋商請領三聯報單時必須出具切結聲明遵照規定章程辦理如有不遵此章之處即照所請報單內載貨數該完正稅若干情願繳完六倍歸中國入官並在切結內附載如遇有事故該商不及照章全辦者聽監督將該貨扣留按照應完各稅及加繳銀數提貨變價補足清楚方將餘貨及餘銀發給領回倘各項完繳未清該貨不能過於別商各等語領事官據以函請監督發單一面將所具切結蓋印送交稅務司查存

第三條

嗣後各洋商所請三聯報單由監督發給之日起以半年爲限應赴內地各該處照單買貨倒換運照凡逾限未經持



用倒換運照之報單應繳呈領事官送監督查銷如持已銷之單仍往內地買貨進口即將該貨全行入官所請報單如被人私行竊去或有遺失原請之人須得立即報明鎮江關以便查銷報單撤回運照報失以後如有人復用已銷之單辦貨違章所有罰辦與原請之商無涉

第四條

請三聯報單所買土貨自倒換運照之日起限六箇月到鎮關最近之子口如逾限期貨未到最近之子口即照切結所開銀數呈繳入官惟凡有該貨沿途為關卡及地方各項員辦扣留或遇有不測之事類如水災賊匪商人自己不能為力各等情事以致限內不能將貨運送到口該商須將就悞情形立即就近報明地方官並報鎮江關查照由監督酌量情節改寬限期若再逾所展之限貨不到口方令該商照結罰繳並照第十條辦理

第五條

該土貨到鎮關最近之子口須由該商開具件數貨色飭重清單報關由關發給准單准該貨過卡隨即將貨送鎮關碼頭驗明報完子口半稅後准將該貨起運上棧如不遵照此章辦理即照切結所開銀數呈繳入官

第六條

該土貨總須出口或由鎮江運往外國或運別口再出外國均以六箇月為限如逾限不報出口即照該貨應完出口正稅銀數呈繳兩倍半方免出口如將該貨報運別口轉運外國自到別口之日起照章限以半年內應出外國該商須在他口請有於限內已往外國之憑單來鎮關呈遞若無有出外國憑單呈關除前收暫存半稅不還外仍照出口

正稅銀數補繳一倍入官倘在他口請領三聯報單採買土貨到鎮該商必須照鎮關暫行章程呈具切結若不由鎮江出口本關查驗蓋戳後准運經內地赴他口繳照出口

第七條

該土貨於未出口之先該商欲行改裝須先開單報關由關驗明實係原貨發給改裝准單並派驗貨手赴棧眼同改裝如未請有准單擅自改包或有特意拆動抽換情形該商即照切結所開銀數呈繳入官

第八條

該土貨到口以後如有損壞情事該商即須赴關報明由關委員驗明實在損壞若干核存幾成好貨照減核算出口稅餉如該商因貨損壞不願運出外國即照減核稅銀數目完納兩倍半方可就地售賣切結亦即銷還

第九條

原請三聯報單之洋商如欲閉歇或遷移他處須將所請尚未買貨報單全行呈繳領事官轉送監督核銷若已經買貨倒換運照尚在中途貨未到鎮或貨存棧未報出口或已運別口未經報往外國者該貨歸於別商須由接收商人自行呈具切結聲明情願仍照原具切結未清各節遵行

第十條

凡有逾限違章者應照切結呈繳銀兩由領事官憑結照例追繳之時該商暫停續請報單其已領報單聽監督一併查銷運照飭令繳回



326  
60

本館附刊之五

本館附刊之五

第十卷

本館附刊之五

本館附刊之五

本館附刊之五

第十卷

本館附刊之五

本館附刊之五

第十卷

本館附刊之五

本館附刊之五

第十卷

本館附刊之五

本館附刊之五



終

